郡　山　女　子　大　学
郡山女子大学短期大学部

平　成　28　年　度

研 究 業 績 及 び 社 会 活 動

平成28年４月　～　平成29年３月

研究紀要編集委員会

【研究業績】（著書・論文・発表）

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
石　堂　常　世	（学術論文）				
	１．地域貢献活動としての大学生による小・中学校生学習支援 －学びの成果を検証する－	単著 〈依頼原稿〉	2017年３月	東北地区私立大学教職課程研究連絡協議会、2016年度『会報』第37号	2016年５月14日、同協議会春季研究大会（於：仙台ガーデンパレス）で発表した報告を論稿化したもの。郡山市教育委員会と市内３大学の協定による大学生ボランティア派遣による小・中学生学習支援体制の構築、実施過程、結果、効果について、立ち上げから関わった者として、教育委員会立案の背景・概要、また郡山女子大学としての関わり方と成果について論稿としてまとめたもの。最後に、教育実習とは別に文部科学省の提唱する教職志願者インターンシップ制度との関係について、課題を含めて言及した。
	２．地域貢献活動としての大学生による小・中学校生学習支援 －学びの成果を検証する－	単著 〈依頼原稿〉	2017年３月	全国私立大学教職課程連絡協議会2016年度『年報』	2016年５月28～29日の全国私立大学教職課程研究大会（於：京都精華大学）の２日目５月29日分科会で発表報告した内容の論稿化。同私大連から次号『年報』への投稿を依頼され、原稿を11月末に送達した。東北大会時と同じテーマ内容を加筆し、図・写真８枚を挿入。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３．日仏交流の変遷を語る－日仏会館創立92年の年に寄せて－	単著	2016年９月	福島日仏協会『会報』*Ile de Bonheur* 第74号掲載	５月23日福島日仏協会2016年度総会において行った講演の論稿化。「フランスと日仏協会の交流について思うこと」という題となって同協会『会報』に掲載された。筆者が40年余にわたり携わってきた日仏教育学会のシンポジウム企画やパリ留学の話しから起こして、日本とフランスとの間にみられた両者の関係性の歴史的変遷を３期に分類し、現下の第３期にイスラム系移民を包接するフランス共和国の苦悩と課題について論じたもの。当日の話しとパワーポイント25枚を論稿化した。講演については、５月24日「福島民報」に同協会総会報告記事の一部として掲載された。
武　井　玲　子	（その他）				
	１．被服の変退色の実態に関する調査	共著	2016年５月27日	（一社）日本家政学会 第67回大会、於：金城学園大学）研究発要旨集、p.117	本学学生（76名）および一般生活者（70名）を対象としたアンケート調査を実施し、変退色の実態を把握し、課題抽出と対処法の検討を実施した。
	２．ユニバーサルデザインのための反対語対にみる色彩イメージの検討	共著	2016年５月27日	（一社）日本家政学会 第67回大会、於：金城学園大学）研究発要旨集、p.74	ユニバーサルデザインの観点から衣生活のサインとして色彩を用いるために反対語に着目して、共通する色彩のイメージを探るための予備調査を実施した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
小　阪　康　治	（学術論文） １.「原発事故の倫理」	単著	2017年３月予定	郡山女子大学紀要53集	
山　形　敏　明	１．福島県における雪害対策に関する基礎的研究－福島県市町村のアンケート結果－	共著	2016年８月	日本建築学会大会（九州）学術講演梗概集	福島県内全市町村の持つ雪害に対する防災力を評価するため、評価因子を検討し、福島県内の市町村を対象に実施したアンケートを分析した結果について報告した。
難　波　めぐみ	（その他） １．中世海上交易品に見る色材－19世紀古紅型の分析から－	単	2016年５月	（一社）日本家政学会第68回大会（金城学院大学）	古紅型試料（難波所蔵）が、那覇市歴史博物館蔵「国宝黄色地松皮菱に菊藤流水菖蒲模様衣裳」と同型と仮説を立て①年代測定、②古紅型の型の照合を実施し、使用色材を明らかにした。
	２．東北の学生の寝衣に関する実態調査	共同	2016年10月	（一社）日本家政学会東北・北海道支部第60回研究発表会（カレッジプラザ）	寝衣が睡眠に影響を及ぼすことは知られているが、着用実態の報告は少ないことから、東北の学生（宮城・福島）を対象にアンケートを実施し、機能性や選択要因などを明らかとした。
石　原　正　道	（学術論文） 1. Effects of Tsallis distribution on parametric resonance in chiral phase transitions	単著	2016年７月	International Journal of Modern Physics E 25, 1650051	膨張がない系と一次元膨張をする系において、線形シグマ模型を用いツァリス分布のパラメータ励起への影響を調べた。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	２．Chiral phase transitions in the linear sigma model in the Tsallis nonextensive statistics	単著	2016年８月	International Journal of Modern Physics E 25, 1650066	非加法統計力学の一つであるツァリス統計力学において線形シグマ模型を用いカイラル相転移を調べた。
	３．Webサイト構築における作業の収束過程	共著	2016年９月	情報科学技術フォーラム（FIT2016）講演論文集，第４分冊，81－86	Webサイト構築作業において、作業のやり取りを蓄積したEメールの件数から収束の予測が可能であるか検証した。
	４．美術教育におけるルーブリック評価導入の妥当性の検討	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要第53集	従来の評価との比較により、芸術教育においてルーブリックによる評価が妥当であることを明らかにした。
	５．授業の難易度と不合格点を考慮したGPAの提案	共著	Accepted	大学入試研究ジャーナル（ノート）	Standard score GPAをもとに新たなGPAを提案し、標準的なGPAの問題点をほぼ解消した。
	（その他） 口頭発表 １．Webサイト構築における作業の収束過程	共著 （発表者：山口）	2016年９月	情報科学技術フォーラム（FIT2016）	Webサイト構築作業において、作業のやり取りを蓄積したEメールの件数から収束の予測が可能であるか検証した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
熊　田　伸　子	（学術論文）				
	１．地域包括ケアシステム構築へ向けての地域間格差 －福島県内の介護サービス資源の観点から－	単著	2017年３月	郡山女子大学研究紀要第53集	居住地域のサービス供給量の多少は、要介護高齢者のサービス利用に影響を与えることが指摘されている。こうした課題にどう向き合うのかを福島県の事例で検証した。
	２．東日本大震災・福島原発事故を経た本県の「高齢者福祉」の実状と提言	単著	2017年１月	月刊 財界ふくしま ２月号	「フクシマの未来像」として、震災以前より存在していた県内の高齢者問題に震災が加わったことで、どのような影響があったのか、いくつかの視点から述べた。
	（その他） 「学会発表」 １．地域包括ケアシステム構築へ向けての取り組み －福島県の限界集落が直面する課題－	単著	2016年９月11日	日本社会福祉学会第64回秋季大会（佛教大学）	地域包括包括ケアシステム構築へ向けて、福島県金山町、昭和村、三島町の取り組みの状況を調査し、その結果を分析、発表した。
佐　藤　典　子	（著書）				
	１．教育実習のマニュアルと記録	共著	2017年３月	郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部教職課程	教職課程履修者が教育実習に関する様々な内容を記録するための日誌を、大幅改訂し、日誌の充実を図った。
	（学術論文） １．家庭科におけるESDの構成概念および学習内容の明確化－小学校・中学校・高等学校の教科書分析を基に－	共著	2017年３月 投稿済	日本家庭科教育学会誌	今後の家庭科の授業実践の質の向上に資するために、既存の家庭科教育の教育内容をESDとして捉え直すことを目的とし、家庭科におけるESDの構成概念を明確化した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	２．教育実習における評価票の検討 －実習校からの評価と自己評価の比較を踏まえて－	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要 第53集	教職課程を履修した学生に対する教育実習校からの個別評価表について、実習校からの評価と学生の自己評価の結果を比較検討するとともに他の教育機関が使用している評価票を参考にして、今後の評価票について提案した。
	３．道徳の「教科化」における課題と教材・指導資料に関する一考察 －地方自治体と東北６県の取り組み事例から－	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要 第53集	全国の地方自治体が地域の特色を踏まえた教材や資料を作成していた。福島県教育委員会もオリジナル教材を作成しており、これらの効果的な活用が期待される。
	４．家庭科におけるキャリア教育の可能性の検討 －被災地の高等学校家庭科教員対象調査結果から－	共著	2017年３月	山梨大学教育学部	東日本大震災で大きな被害のあった福島県、宮城県、岩手県の高等学校家庭科教員にアンケート調査を行い、授業におけるキャリア教育の取り組み状況を調査した。
	（その他） 口頭発表 １．道徳教育としての食育 －「教科化」を踏まえた今後の方向性と課題－	単著	2017年11月	日本食生活学会 第53回大会	道徳の教科化に伴い、学校教育活動全体を通した道徳教育としての食育の充実が期待される一方で、検定教科書にどのような食育授業の題材が組み込まれるか、また道徳的諸価値の評価の在り方等の課題が挙げられている。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
堀　　琴　美	（その他） １．『キャリアデザイン－初年次教育から実践的就職活動へのサポート』改訂版	共著	2017年３月	郡山女子大学 教養・キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」15回分の教材を検討し、改訂版を作成した。
阿　部　恵利子	１．地方における建築賞と景観賞に関する考察－道県の賞の趣旨・目的等の比較－	共著	2016年９月	日本建築学会大会学術講演梗概集	地方における建築および景観賞の趣旨・目的より、地方の発展に寄与する姿勢がみられる一方、「県民の意識高揚」を大局的目的とする傾向がうかがえた。
	２．地方における建築賞と景観賞に関する考察－賞の応募数と意義－	共著	2016年９月	日本建築学会大会学術講演梗概集	各地方における建築賞と景観賞の応募作品及び受賞作品の現況を把握し、それらの傾向とそれぞれの賞の意義や周知度について考察した。
廣　野　正　子	（その他） １．研究２ 児童相談所一時保護所に非行児童と被虐待児が同時期に一時保護されたときに苦慮したこと	共著	2016年４月	公立大学法人会津大学「非行児童の支援に関する研究」	質問紙調査において、児童相談所一時保護所に同時期に非行児童と被虐待児童が保護されたときに、対応に苦慮したことを自由回答で求めた。そこから220のデータに切片化し、KJ法によって分析し報告した。 掲載頁pp.19－23 共著者：大澤朋子、和秀俊、廣野正子
長　田　城　治	（著書） １．民家における近代化の様相－ひとびとは近代化をどう受け止めたか	共著	2017年８月	一般社団法人日本建築学会	日本建築学会大会パネルディスカッションに伴う研究報告集において「材料と民家：石材供給から見た民家の近代」と題した研究について執筆した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	口頭発表				
	１．占領下日本の都市・住宅を捉える視点－占領下日本の都市・住宅に関する研究　その１	共著	2016年８月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	占領下日本の都市・住宅に関する研究の一つとして、占領下日本の建築や都市を建築史研究上においてどのように捉えるべきか、研究課題や意義についてまとめた。
	２．山形県における占領軍の接収施設・住宅－占領下日本の都市・住宅に関する研究　その２	共著	2016年８月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	占領下日本の都市・住宅に関する研究の一つとして、山形県における占領軍の接収施設と住宅を対象に立地や構造形式、改造傾向の特徴について明らかにした。
	３．占領期の岡山における住宅接収について－占領下日本の都市・住宅に関する研究　その３	共著	2016年８月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	占領下日本の都市・住宅に関する研究の一つとして、岡山県の占領軍の進駐の状況と接収された建物を把握し、住宅接収がもたらした影響について明らかにした。
	４．占領期宮崎における住宅接収の研究について－占領下日本の都市・住宅に関する研究　その４	共著	2016年８月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	占領下日本の都市・住宅に関する研究一つとして、宮崎市における接収住宅を対象に占領軍の改造の実態の検討から占領軍の住まい方を把握した。
	５．占領下大津と山科における接収住宅の改修状況－占領下日本の都市・住宅に関する研究　その５	共著	2016年８月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	占領下日本の都市・住宅に関する研究一つとして、大津および山科地区で接収された住宅を対象に改修の実態を報告した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	６．北海道札幌市における進駐軍接収施設の種類と傾向について－占領下日本の都市・住宅に関する研究　その６	共著	2016年８月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	占領下日本の都市・住宅に関する研究一つとして、札幌市内で占領軍に接収された施設を把握し、その種類と分布傾向を報告した。
	７．占領下愛知における進駐軍住宅地区と施設移転－占領下日本の都市・住宅に関する研究　その７	共著	2016年８月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	占領下日本の都市・住宅に関する研究一つとして、愛知県内の接収施設・住宅の概要を把握し、接収施設が名古屋市内から市外へ移行したことを報告した。
	８．占領軍家族住宅「皇子山ハイツ」の建設経緯と跡地転用－占領下日本の都市・住宅に関する研究　その８	共著	2016年８月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	占領下日本の都市・住宅に関する研究一つとして、皇子山ハイツの接収状況とその後の対応について行政資料により把握し、新築されたDHの実態について報告した。
	９．占領期の神戸における接収ホテルの状況－占領下日本の都市・住宅に関する研究　その９	共著	2016年８月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	占領下日本の都市・住宅に関する研究一つとして、神戸市山手地区において接収されたホテルの実態とその動向について検討した。
	10．占領下大津における旧海軍航空隊施設の接収と水耕農園－占領下日本の都市・住宅に関する研究　その10	共著	2016年８月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	占領下日本の都市・住宅に関する研究一つとして、大津市の旧海軍航空施設の接収の状況と水耕農園の建設と返還後の実態について報告した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	報告書 １．登録有形文化財申請報告書－ぬる湯温泉旅館・二階堂に関する所見	単著	2016年９月	福島県	ぬる温湯温泉旅館（福島市）の文化財指定のための各種調査を実施し、建物の建築的・地域的価値を精査し、登録有形文化財の認定に要する所見を執筆してまとめた。
	デザイン制作 １．石工フェスin石蔵に関する広報用フライヤー制作	単著	2016年11月	国見町企画情報課歴史まちづくり推進室	国見町と郡山女子大学人間生活学科建築デザインコースが共催したイベントにおいて利用した広報用のフライヤー（5,500部）およびポスターのデザイン制作を行った。
佐久間　邦　友	（著書） １．　教育実習のマニュアルと記録	共著	2017年３月	郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部教職課程	教職課程履修者が教育実習に関する様々な内容を記録するための日誌を、大幅改訂し、日誌の充実を図った。
	（学術論文） １．授業の難易度と不合格点を考慮したGPAの提案	共著	Accepted	大学入試研究ジャーナル（ノート）	Standard score GPAをもとに新たなGPAを提案し、標準的なGPAの問題点をほぼ解消した。（石原正道、佐久間邦友）
	２．教育実習における評価票の検討－実習校からの評価と学生の自己評価の比較を踏まえて－	共著	2017年３月	郡山女子大学、郡山女子大学紀要第53集	教職課程を履修した学生に対する教育実習校からの個別評価表について、実習校からの評価と学生の自己評価の結果を比較検討するとともに他の教育機関が使用している評価票を参考にして、今後の評価票について提案した。（佐藤典子、佐久間邦友）

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３．道徳の「教科化」における課題と教材・指導資料に関する一考察－地方自治体と東北６県の取り組み事例から－	共著	2017年３月	郡山女子大学、郡山女子大学紀要第53集	全国の地方自治体が地域の特色を踏まえた教材や資料を作成していた。福島県教育委員会もオリジナル教材を作成しており、これらの効果的な活用が期待される。（佐藤典子、佐久間邦友、田中真秀）
	（その他） 「報告書」 １．都道府県の子どもの貧困対策事業調査2016報告書	共著	2016年８月	子どもの貧困対策「見える化」プロジェクト	「Ⅲ　学習支援関連」を担当し、小中学生への学習支援（市区町村・民間に補助・委託）などを執筆した。
	「学会発表」 １．地方自治体における学習支援－学習塾の活用に着目して	単独	2016年８月	日本教育学会第75回大会（北海道大学）	これまで私教育に分類されてきた「学習塾」を活用し、自治体主導で行われている学習支援の位置づけの方向性、学習塾を活用した学習支援に関する研究の可能性を、地方自治体における学習支援の具体的な事例などをもとに提示した。
	２．子どもの貧困対策における「教育の支援」の現状と課題－47都道府県調査より－	共同	2017年10月	日本教育行政学会第51回大会（大阪大学）	子どもの貧困対策のグッドプラクティス自体の生成の経緯やそのアイディアとしての先進性とともに、それらのグッドプラクティスが継続できない実態と、制度的な脆弱性の解明、またどのようにして制度の脆弱性を克服していくことができるのかを検討した。（佐久間邦友、末冨芳）

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	「その他」 １．スタディサプリ①－スタディサプリで何ができるのか	単著	2016年10月	教育開発研究所、教職研修530号	「動画で講義視聴」とはどんなものなのか、リクルート社が事業展開する「スタディサプリ」を参考に探った。
	２．スタディサプリ②－スタディサプリはどう使われているか	単著	2016年11月	教育開発研究所、教職研修531号	「スタディサプリ」についてICT教材として活用されていること、加えて進路指導の実践事例などを紹介した。
	３．スタディサプリ③－子どもの学習環境への影響	単著	2016年12月	教育開発研究所、教職研修532号	「スタディサプリ」の登場による学習支援事業への効果などについて説明した。
	４．コミュニティ・スクールとこれからの学校事務	単著	2016年12月	日本教育事務学会、日本教育事務学会年報第３号	地域の人と学校がコミュニティ・スクールの核に『チーム』を組んでいく際に生じる学校事務を考察した。
	５．ちょっと拝見　学校訪問　福島県立光南高等学校	単著	2017年１月	学事出版	「生徒の個性を尊重し、自主性を重んじる教育活動」を展開している光南高校の取組みについて紹介した。
添　田　祐　司	（学術論文） １．郡山市における地域福祉活動の圏域に関する一考察	単著	2017年３月	郡山女子大学紀要第53集	地域福祉を活性化させる要因として、地域福祉活動の圏域の捉え方と住民主体の活動のあり方について考察した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
大　泉　由　美	（その他） １.「学会発表」 被服の変退色の実態に関する調査	共著	2016年５月	日本家政学会第68回大会（於：金城学院大学）	変退色を防止するための課題抽出を目的に、被服管理の行動シーン毎に変退色実態のアンケート調査を実施した結果、デメリット表示が今後の課題といえる。 共同研究者：遠藤恵、武井玲子
藤　原　建　樹	（学術論文） １．藤原建樹、須貝研二 てんかん学会ガイドライン	共	2016	日本てんかん学会の歴史。診断と治療社。pp 41－42	てんかんの診断治療ガイドライン（日本てんかん学会）作成の来歴を解説した。
	２．藤原建樹 Landou-Kleffner 症候群	単	2016	小児科診療2016年増刊号、小児の症候群。診断と治療社。pp104、2016	Landou-Kleffner 症候群はてんかん発射による聴覚中枢の機能障害に基づく後天性の失語である。本症候群の概略を述べた。
鍬　野　信　子	（学術論文） １．ベルギービールと人間生活の関わり	単著	2017年３月	郡山女子大学紀要, Vol.53、PP.1－17	ベルギービールについて醸造所を訪問し、その歴史的背景からビールと人間生活との関わりについて解説した。
	（その他） １．お酒の楽しみ方　テキーラ編 その３『1800』と『PATRON』	単著	2016年４月	酒販の友 №667 p.10－11	古くから異なる特徴を持った2つの地方の代表的なテキーラについて解説した。
	２．お酒の楽しみ方　テキーラ編 その４「テキーラの飲み方」	単著	2016年５月	酒販の友 №668 p.10－11	テキーラの伝統的な飲み方と、近年の五感を利用した正しい飲み方について解説した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３．お酒の楽しみ方　テキーラ編　その５「おすすめのテキーラバー」	単著	2016年６月	酒販の友 №669 p.10－12	テキーラが五感を利用して正しく味わうことのできる店について解説した。
	４．お酒の楽しみ方　テキーラ編　その６「テキーラとの素敵な出会いを！」	単著	2016年７月	酒販の友 №670 p. ８－９	テキーラがセレブに愛される理由やその楽しみ方について解説した。
	５．お酒の楽しみ方　ベルギービール編　その①「ベルギービールとの出会い」	単著	2016年８月	酒販の友 №671 p. ８－９	ビールの概念を大きく変えるベルギービールについて、その基本的な事柄について解説した。
	６．お酒の楽しみ方　ベルギービール編　その②「発酵法が個性を生む」	単著	2016年９月	酒販の友 №672 p. ８－９	個性豊かなベルギービールについて、特徴的な製造方法、飲み方などについて解説した。
	７．お酒の楽しみ方　ベルギービール編　その③「ホワイトビール」	単著	2016年10月	酒販の友 №673 p. ８－９	「ホワイトビール」の歴史、製造方法、特徴などについて解説した。
	８．お酒の楽しみ方　ベルギービール編　その④「ランビック」	単著	2016年11月	酒販の友 №674 p. ８－９	最も伝統的なビール「ランビック」の歴史、製造方法、特徴などについて解説した。
	９．お酒の楽しみ方　ベルギービール編　その⑤「トラピスト・ビール」「アビイ・ビール」	単著	2016年12月	酒販の友 №675 p. ８－９	「トラピスト・ビール」と「アビイ・ビール」の歴史、製造方法、特徴などについて解説した。
	10．お酒の楽しみ方　ベルギービール編　その⑥「セゾン・ビール」「レッド・ビール」	単著	2017年１月	酒販の友 №676 p.12－13	「セゾン・ビール」、「レッド・ビール」などの歴史、製造方法、特徴などについて解説した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	11. お酒の楽しみ方　ベルギービール編　その⑦「ベルギービールを楽しめる店」	単著	2017年２月	酒販の友 №677 p.12－13	ベルギービールが五感を利用して正しく味わうことのできる店について解説した。
菊　池　節　子	（著書） １．新 調理学実習 第二版 －基本調理から給食への展開－	共著	2016年４月	株式会社同文書院	調理から給食管理へ一層の展開を図るため、レシピ数の増加とおいしさの追及を視点に、第一版内容を精査し、改定した。 本人担当部分：基本理論編 Ⅱ献立の立て方、レシピ編 日本料理pp.５－７、58、64－68、74－79、101－113 編著者：宮下朋子、村元美代 著者：菊池節子、津田和加子、菊地和美、新海シズ
	（その他） 「学会発表」 １．福島県の健康課題解決にむけて～食育の観点から健康寿命延伸・健康格差縮小のために～ （示説発表）	共同研究	2016年６月	一般社団法人日本食育学会第４回総会・学術大会 （於：実践女子大学渋谷キャンパス）	健康づくり及び栄養・食生活改善について、生活習慣の発症予防と重症化予防の観点から他県との比較により福島県の疾病状況や食習慣を分析し地域の課題について調査・研究を行った。 先﨑和子、菊池節子
	２．減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価（第３報） －継続使用期間による影響について－ （口頭発表）	共同研究	2016年８月	一般社団法人日本調理科学会平成28年度大会 （於：名古屋学芸大学）	濃口醤油を減塩醤油に置き換えて、鹹味嗜好試験などを実施し、減塩調理に対する味慣れについて報告した。 菊池節子、善方美千子、小幡明雄、藤本健四郎

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３．震災後の学校における食育～地場産物活用･健康上の課題解決に向けた取組～ （口頭発表）	共同研究	2016年９月	第63回日本栄養改善学会学術総会 （於：ホテル青森）	福島県新地町の学校給食における地場産物活用の再開と児童生徒の健康な体づくりの実践を目的とした食育推進の取組について検討した。 小泉弘子、菊池節子、鈴木奈津子
	４．減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価 （口頭発表）	共同研究	2016年11月	日本食生活学会　第53回大会 （於：大阪樟蔭女子大学）	高齢者を対象に２週間の減塩生活を実施し、鹹味嗜好の変化や減塩調理方法の可能性について検討した。 善方美千子、坂野史明、菊池節子、小幡明雄、藤本健四郎
	「報告書」 １．郡山市震災後子どものケアプロジェクト 運動や食事についてのアンケート調査報告書（2015年）	共著	2016年３月	「郡山市子どもの心と体の発育身守り事業」調査研究委員会	本報告書は平成27年度実施の郡山市の子どもたちの生活習慣等に関するアンケート調査結果をまとめたものである。 本人担当部分：食習慣、食事の様子 pp.９－10、32－56 菊池信太郎、中村和彦、長野康平、岸本あすか、菊池節子、泉　秀生、高橋千春
安　田　純　子	（学術論文） １.「関口富左先生から学んだこと」	単著	2016年７月	日本家政学会家政学原論部会編「家政学原論研究」No.50	先達から何を学び引き継ぐのかという原論部会テーマにおいて、名誉学園長・学長先生について書かせていただいた。
	２.「アボリジニからみる食文化の変化による肥満増加」	単著	2017年２月	NPO法人楽遊ネットワーク宮城 「ACTION」２月号	アボリジニの食文化の変遷にともなう健康状態を紹介し、食と健康、人工的・利便性からの食生活について投げかけた。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	（その他） １．『キャリアデザイン－初年次教育から実践的就職活動へのサポート』改訂版	共著	2017年３月	郡山女子大学　教養・キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」15回分の教材を検討し、改訂版を作成した。
	２．食物栄養学科セミナー（講師）「オーストラリアの食文化－先住民アボリジニの食文化とその変遷を中心として－」	単独	2016年11月	郡山女子大学家政学部食物栄養学科	オーストラリアの現代の食文化と先住民の伝統的食文化と変遷を紹介し、食が健康に及ぼす影響や食の再認識を試みた。
	３．研修講座修了 平成28年度第１回キャリア・カウンセラー養成研修講座	単独	2016年６月	日本キャリア教育学会	ａ分野：キャリア教育とアクティブラーニング　ｃ分野：ガイダンスツールを用いた職業相談　研修講座修了
関　口　　晋	（その他） 「学会発表」 １．異なる好みのハーブ・アロマが情報処理等作業において及ぼす生理・心理作用について	共著	2016年12月	室内環境学会学術大会 （於：茨城県つくば市）（Ｐ－47）	３種類の作業（百ます計算作業、GATB（一般職業適性検査（厚生労働省編））作業、ジグソーパズル作業）について、好みが異なる２種のブレンド・アロマによる生理・心理作用を検討した。 本人担当部分：研究計画、結果まとめ 共著者：関口　晋、齋藤佳代、松岡里穂、山口　愛

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
岡　部　聡　子	（口頭発表） １．女子高校生の貧血状況と食生活の傾向について	共著	2016年12月７日	福島県栄養改善学会	附属高等学校において、非採血による簡易式ヘモグロビン測定器を用いてのヘモグロビン量測定を実施し、スポーツ時の弊害についての意識調査と合わせて貧血者の割合を把握し、基礎資料とすることを目的に実態調査を行った。 共同研究者：本間杏菜、水野時子、横田和子、佐藤浩明
	（示説発表） 1. Actual circumstances basal metabolism standard of female students in Fukushima Prefecture.	共著	2016年８月３日	第23回国際家政学会（韓国Daejeon）	酸素摂取量から基礎代謝を算出するメタボリックアナライザーを用いて、大学生の基礎代謝量を測定し、ダイエットと運動習慣による影響について考察した。 共同研究者：金子依里香、本間杏菜
先　﨑　和　子	（その他） 「学会示説発表」 １．福島県の健康課題解決に向けて～食育の観点から健康寿命延伸・健康格差縮小のために～	共同	2016年６月	日本食育学会第４回総会・学術大会（実践女子大学）	健康づくり及び栄養・食生活改善について、生活習慣の発症予防と重症化予防の観点から他県との比較により福島県の疾病状況や食習慣を分析し地域の課題について調査・研究を行った。 共同研究者：菊池節子

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	「学会示説発表」 ２．管理栄養士課程における臨地実習に向けての取り組みに関する検討	共同	2016年９月	第63回日本栄養改善学会学術総会（青森県青森市）	本学管理栄養士課程における過去４年間の臨地実習事前事後指導、事前学習会の取り組みについてまとめ、今後に向けての検討を行った。 共同研究者：中村真智子
亀　田　明　美	（著書） １．よくわかる栄養教諭－食育の基礎知識－	共著	2016年４月	同文書院	第３章「学校給食と栄養教諭」において、学校給食の栄養管理に関し具体例を示しながら執筆した。
	（口頭発表） １．中学生が学校給食から摂取する栄養量の把握の試み	共著	2016年９月	第63回栄養改善学会学術総会講演要旨集	中学校給食の現場において実施可能な、栄養摂取量を把握する方法を検討し、対象者一人ひとりに計画通り食事が提供されているかを検証した。
	２．給食時間における学級担任の配食等に関する調査	共著	2016年11月	第12回日本給食経営管理学会学術総会プログラム講演要旨集	給食時間における学級担任の配食等に関する指導についての調査結果を報告した。
	３．学校給食センターの受配校における栄養摂取量の把握の試み	共著	2016年11月	第12回日本給食経営管理学会学術総会プログラム講演要旨集	学校給食センターの受配校を対象として、実際の現場において実施可能な、栄養摂取量を把握する方法を検討し、対象者１人ひとりに計画通り食事が提供されているか検証した。 共同研究者：横田和子

氏　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　要
影山志保	（ポスター発表） 1．福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向（2015）	共同	2016年９月18日	日本菌学会60周年記念大会講演要旨集、p.93（京都）	福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の分析を実施し、空間放射線量率と同一きのこの年次変化、近縁種の放射性セシウム濃度について報告した。
坂野史明	（学術論文） 1. Thrombophilia in East Asian Countries: Are there any genetic differences in these countries?（査読付）	共著	2016年10月	Thromb J, 14（Suppl 1）, 25	日本人に特異的に認められ、他の東アジア人種には存在しないプロテインS K196E変異について、日本人の静脈血栓症における本変異の位置づけをモデルマウスの解析結果に基づいて考察した。著者：Miyata T, Maruyama K, Banno F, Neki R, 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能
	2．Human CalDAG-GEFI deficiency confers severe bleeding tendency and delayed αIIbβ3 activation velocity.（査読付）	共著	2016年12月	Blood, 128（23）, p.2729－2733	先天性CalDAG-GEFI欠損症患者の遺伝子解析及び血小板機能解析を行い、本分子がヒト血小板インテグリンαIIbβ3のinside-out signalingに必須となることを明らかにした。著者：Kato H, Nakazawa Y, Kurokawa Y, Kashiwagi H, Morikawa Y, Morita D, Banno F, Honda S, Kanakura Y, Tomiyama Y,担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	（その他） 「学会発表」 １．減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価	共同	2016年11月	第53回日本食生活学会大会（於：大阪樟蔭女子大学）	減塩醤油を継続使用することによる低塩に対する味慣れについて解析し、世代に関わらず減塩生活を２週間続けるだけで減塩醤油を好むように嗜好が変化することを明らかにした。演者：善方美千子、坂野史明、菊池節子、小幡明雄、藤本健四郎、担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能
佐　藤　浩　明	（口頭発表） １．女子高校生の貧血状況と食生活の傾向について	共著	2016年12月７日	福島県栄養改善学会	附属高等学校において、非採血による簡易式ヘモグロビン量測定を実施し、スポーツ時の弊害についての意識調査と合わせて貧血者の割合を把握し、基礎資料とすることを目的に実態調査を行った。 共同研究者：本間杏菜、水野時子、横田和子、岡部聡子
善　方　美千子	（その他） 「学会口頭発表」 １．減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価（第３報） －継続使用期間による影響について－	共同研究	2016年８月	一般社団法人日本調理科学会 平成28年度大会 名古屋学芸大学	濃口醤油を減塩醤油に置き換えて、鹹味嗜好試験などを実施し、減塩調理に対する味慣れについて報告した。 共同発表者：菊池節子、善方美千子、小幡明雄、藤本健四郎

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	２．減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価	共同研究	2016年11月	日本食生活学会 第53回大会 大阪樟蔭女子大学	高齢者を対象に、２週間の減塩生活を実施し、鹹味嗜好の変化や減塩調理方法の可能性について報告した。 共同発表者：善方美千子、坂野史明、菊池節子、小幡明雄、藤本健四郎
中　村　真智子	（その他） 「学会示説発表」 １．管理栄養士課程における臨地実習に向けての取り組みに関する検討	共同	2016年９月	第63回日本栄養改善学会学術総会（青森県青森市）	本学管理栄養士課程における過去４年間の臨地実習事前事後指導、事前学習会の取り組みについてまとめ、今後に向けての検討を行った。 共同研究者：中村真智子、先﨑和子
横　田　和　子	（口頭発表） １．福島県の家庭料理　主食の特徴－特に沿岸部と山間部の米料理－	共著	2016年 ８月28・29日	一般社団法人日本調理科学会 平成28年度大会（名古屋学芸大学）特別企画家庭料理研究委員会「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表	平成24～26年度にかけて全国的に実施された聞き書き調査の結果を『次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理』として聞き書き調査報告書にまとめて来た。今回はその調査結果の中から主食をテーマとした特別企画展が開催され、福島県沿岸部と山間部の米料理の特徴について報告した。
	２．学校給食センターの受配校における栄養摂取量の把握の試み	共著	2016年11月	第12回日本給食経営管理学会学術総会プログラム講演要旨集P42（日本給食経営管理学会）	学校給食センターの受配校を対象として、実際の現場において実施可能な、栄養摂取量を把握する方法を検討し、対象者１人ひとりに計画通り食事が提供されているか検証した。 共同研究者：亀田明美

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３．女子高校生の貧血状況と食生活の傾向について	共著	2016年12月７日	福島県栄養改善学会	附属高等学校において、非採血による簡易式ヘモグロビン測定器を用いてのヘモグロビン量測定を実施し、スポーツ時の弊害についての意識調査と合わせて貧血者の割合を把握し、基礎資料とすることを目的に実態調査を行った。 共同研究者：本間杏菜、水野時子、横田和子、佐藤浩明
本　間　杏　菜	（口頭発表） １．女子高校生の貧血状況と食生活の傾向について	共著	2016年12月７日	福島県栄養改善学会	附属高等学校において、非採血による簡易式ヘモグロビン測定器を用いてのヘモグロビン量測定を実施し、スポーツ時の弊害についての意識調査と合わせて貧血者の割合を把握し、基礎資料とすることを目的に実態調査を行った。 共同研究者：岡部聡子、水野時子、横田和子、佐藤浩明
	（示説発表） 1. Actual circumstances basal metabolism standard of female students in Fukushima Prefecture.	共著	2016年８月３日	第23回国際家政学会（韓国Daejeon）	酸素摂取量から基礎代謝を算出するメタボリックアナライザーを用いて、大学生の基礎代謝量を測定し、ダイエットと運動習慣による影響について考察した。 共同研究者：岡部聡子、金子依里香

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
石　村　由美子	（その他）				
	１．子どもの食生活実態調査（その５）－小学生の調査より－	共同	2016年 ８月28・29日	一般社団法人日本調理科学会 平成28年度大会（名古屋学芸大学）ポスター発表	前大会に続く報告で、これまで「その１」から「その４」として郡山市内の保育所及び幼稚園に通園する園児の食生活実態調査について報告した。本報告は郡山市内の小学校１、３、５学年に在籍する779名を調査対象者として、食生活の実態について調査した結果を報告した。
	２．福島県の家庭料理　主食の特徴－特に沿岸部と山間部の米料理－	共同	2016年 ８月28・29日	一般社団法人日本調理科学会 平成28年度大会（名古屋学芸大学）特別企画家庭料理研究委員会「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表	平成24～26年度にかけて全国的に実施された聞き書き調査の結果を『次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理』として聞き書き調査報告書にまとめて来た。今回はその調査の中から主食をテーマとした特別企画展が開催され、福島県沿岸部と山間部の米料理の特徴について報告した。
田　辺　真　弓	１.『被服学事典』	共著	2016年10月15日	一般社団法人日本家政学会企画 牛腸ヒロミ・他編 朝倉書店	第１章人間の身体と衣服の成り立ち１.８服装の歴史ｂ．平安時代（68～70頁）を担当し、唐風服飾から国風服飾への変遷と国風服飾の完成について執筆した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	（学術論文） １.「南会津の地歌舞伎とその衣裳について－南郷・伊南の歌舞伎衣裳を中心として－」	単著	2017年３月	郡山女子大学研究紀要第53集	南会津地方は江戸時代の中期から昭和30年代に至るまで、農民による地歌舞伎が盛んな地域であり、現在も歌舞伎衣裳が残されている。この地域で地歌舞伎が盛んになった文化的・社会的要因を探るとともに福島県有形民俗文化財に指定された南郷・伊南の歌舞伎衣裳について概説した。
知　野　　愛	（学術論文） １.「戦後農村の生活改善普及事業にみる子育て支援－季節保育所の開設について－」	単著	2017年３月	「郡山女子大学紀要」第53集	日本の戦後農村生活改善普及事業の中で、生活経営分野の改善の一つに季節保育所の開設があった。当時の資料から、農作業の間に子供を預かるという目的と共に、児童憲章に基づき子どもが安全に守られる権利の啓発活動もなされていたことがわかった。
	（その他） 学会口頭発表 １.「家族と地域における子育てに関する意識－短大幼児教育学科学生の意識調査から－」	単独	2016年５月29日	日本家政学会第68回大会研究発表要旨集p.113（於：金城学院大学）	本学幼児教育学科２年生を対象に実施した調査結果から、地域で子育てを支える為に気軽な相談場所や防犯のための声掛け・登下校の見守り等の重要性への認知度が高いこと等を報告した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	口頭発表 １.「明治大正期における女性の国際交流と異文化理解」	単独	2016年６月18日	（一社）国際女性教育振興会県中地区研修会	明治大正期に渡米した女性で『武士の娘』を著した杉本鉞子の生涯と、津田梅子など同時期の女性達の足跡について、国際交流・異文化理解という視点から調査した結果を発表した。
	教材 １.『キャリアデザイン－初年次教育から実践的就職活動へのサポート－』改訂版	共著	2017年３月	郡山女子大学教養・キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」15回分の教材を検討し改訂版を作成した。
古　山　幹　雄	（学術論文） １．Web サイト構築における作業の収束過程	共著	2016 年９月	情報科学技術フォーラム（FIT2016）講演論文集，第４分冊，81－86	Web サイト構築作業において、作業のやり取りを蓄積したEメールの件数から収束の予測が可能であるか検証した。
山　口　　猛	（著書） １.『キャリアデザイン－初年次教育から実践的就職活動へのサポート』改訂版	共著	2017年３月	郡山女子大学　教養・キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」15回分の教材を検討し、改訂版を作成した。
	（学術論文） １．Webサイト構築における作業の収束過程	共著	2016年９月	情報科学技術フォーラム（FIT2016）講演論文集，第４分冊，81－86	Webサイト構築作業において、Eメールを用いた作業管理を行った送受信履歴から、作業収束の振る舞いについて調べた。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	２．プレゼンテーションソフトを用いた教育教材のICT環境対応	単著	2017年３月	郡山女子大学研究紀要　第53集	教育現場が抱えるICT環境に対応したデジタル教材作成の手法についてまとめた。
	（その他） 口頭発表 １．Web サイト構築における作業の収束過程	共著（発表者：山口）	2016年９月	情報科学技術フォーラム（FIT2016）	Webサイト構築作業において、作業のやり取りを蓄積したEメールの件数から収束の予測が可能であるか検証した。
阿　部　優　子	（その他） １．子どもの食生活実態調査（その５）－小学生の調査より－	共同	2016年 ８月28・29日	一般社団法人日本調理科学会 平成28年度大会（名古屋学芸大学）ポスター発表	前大会に続く報告で、これまで「その１」から「その４」として郡山市内の保育所及び幼稚園に通園する園児の食生活実態調査について報告した。本報告は郡山市内の小学校１、３、５学年に在籍する779名を調査対象者として、食生活の実態について調査した結果を報告した。
	２．福島県の家庭料理　主食の特徴－特に沿岸部と山間部の米料理－	共同	2016年 ８月28・29日	一般社団法人日本調理科学会 平成28年度大会（名古屋学芸大学）特別企画家庭料理研究委員会「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表	平成24～26年度にかけて全国的に実施された聞き書き調査の結果を『次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理』として聞き書き調査報告書にまとめて来た。今回はその調査の中から主食をテーマとした特別企画展が開催され、福島県沿岸部と山間部の米料理の特徴について報告した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
齋　藤　理　沙	（その他） １．子どもの食生活実態調査（その５）－小学生の調査より－	共同	2016年 ８月28・29日	一般社団法人日本調理科学会 平成28年度大会（名古屋学芸大学）ポスター発表	前大会に続く報告で、これまで「その１」から「その４」として郡山市内の保育所及び幼稚園に通園する園児の食生活実態調査について報告した。本報告は郡山市内の小学校１、３、５学年に在籍する779名を調査対象者として、食生活の実態について調査した結果を報告した。
坂　上　　茂	（著書） １．ヒトの基礎生化学	共著	2016年９月	アイ・ケイ　コーポレーション	大学でヒトの健康に関わる専門科目学ぶ学生を対象とした生化学の教科書を分担で執筆した。「酵素」の章を担当した。
會　田　久仁子	（その他） １．福島県の家庭料理　主食の特徴－特に沿岸部と山間部の米料理－	共同	2016年 ８月28・29日	一般社団法人日本調理科学会平成28年度大会（名古屋学芸大学） 特別企画 家庭料理研究委員会「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」ポスター発表	平成24～26年度にかけて全国的に実施された聞き書き調査の結果を『次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理』として聞き書き調査報告書にまとめて来た。今回はその調査結果の中から主食をテーマとした特別企画展が開催され、福島県沿岸部と山間部の米料理の特徴について報告した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
水　野　時　子	（口頭発表） １．女子高校生の貧血状況と食生活の傾向について	共同研究	2016年12月７日	福島県栄養改善学会	附属高等学校において、非採血による簡易式ヘモグロビン測定器を用いてのヘモグロビン量測定を実施し、スポーツ時の弊害についての意識調査と合わせて貧血者の割合を把握し、基礎資料とすることを目的に実態調査を行った。 共同研究者：本間杏菜、岡部聡子、横田和子、佐藤浩明
金　子　依里香	（示説発表） 1. Actual circumstances basal metabolism standard of female students in Fukushima Prefecture.	共著	2016年８月３日	第23回国際家政学会（韓国Daejeon）	酸素摂取量から基礎代謝を算出するメタボリックアナライザーを用いて、大学生の基礎代謝量を測定し、ダイエットと運動習慣による影響について考察した。 共同研究者：岡部聡子、本間杏菜
鈴　木　奈津子	（その他） １．震災後の学校における食育～地場産物活用・健康上の課題解決に向けた取組～ （口頭発表）	共同研究	2016年９月	第63回日本栄養改善学会学術総会（於ホテル青森）	福島県新地町の学校給食における地場産物活用の再開と児童生徒の健康な体づくりの実践を目的とした食育推進の取組について検討した。 共同研究者：小泉弘子、菊池節子、鈴木奈津子
	２．給食論実習Ⅱにおける幼稚園給食提供に関する検討（第２報） （示説発表）	単著	2016年11月	日本給食経営管理学会 第12回日本給食経営管理学会学術総会（於：大手前大学）	校内実習における献立作成を「応用栄養学実習」で実施し、保護者のアンケート調査や学生の評価により、連携授業の効果を検討した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３．給食論実習Ⅱにおける幼稚園給食提供についての一考察（第２報）（口頭発表）	単著	2016年12月	第28回　福島県栄養改善学会（於：郡山市労働福祉会館）	幼稚園給食の提供に関連する教科と連携しながら進めていくことが不可欠であるとして、今年度は他授業で作成した献立を用いて、その効果について検討した。
加　藤　雅　子	（その他） １．福島県の家庭料理　主食の特徴－特に沿岸部と山間部の米料理－	共同	2016年 ８月28・29日	一般社団法人日本調理科学会 平成28年度大会（名古屋学芸大学）特別企画家庭料理研究委員会「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表	平成24～26年度にかけて全国的に実施された聞き書き調査の結果を『次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理』として聞き書き調査報告書にまとめて来た。今回はその調査結果の中から主食をテーマとした特別企画展が開催され、福島県沿岸部と山間部の米料理の特徴について報告した。
三　瓶　令　子	（学術論文） １．保育者養成における地域連携に関する研究～学生の学びと地域貢献に着目して～	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要 第53集	保育者養成校である本学幼児教育学科における地域連携に関して、学生の学びの視点における連携と地域貢献としての連携について事例を取り上げ、今後の在り方について、考察を行った。 （柴田卓、伊藤哲章、早川仁、古川督、猪股照子、仲西真美子、三瓶令子）

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	（その他） １．学会発表 保育現場における「幼児合奏」へのアプローチ～アンサンブル体験から見えてくるもの～	共同	2016年６月18日	全国大学音楽教育学会・東北地区学会 （於：青森）	子どもの楽器あそびを実践する際に、日頃楽譜を読んだりアンサンブルをしたりすることに抵抗のある保育現場の先生や養成校の学生が、活用可能な「記号譜」を用いた方法について、ワークショップ形式で発表した。 （三瓶令子、菅原美謝）
	２．企画シンポジウム のシンポジスト 東北企画シンポジウム 「あの時、養成校はどう対処したのか～東日本大震災を振り返る～」	共同	2016年８月26日	全国保育士養成協議会第55回大会 （於：岩手）	震災直後の養成校の対応について、以下の観点より発表した。①震災前の本学の安全対策と、震災の日の学校の状況②震災の次の日からの取り組み③東北電力第一原子力発電所事故への恐怖④卒業式・入学式をま間近に、決断の時⑤学生達への連絡⑥その後の震災への取り組み（地震と放射能対策）
冨士盛　公　年	（学会発表） １.「自閉スペクトラム障害の女性のコラージュ療法の多様な世界」	単独	2016年８月28日	カウンセリング学会事例発表	自閉スペクトラム障害の人のコラージュ療法の事例はまだ少ない。この事例はその希少な例の発表である。実際にはコラージュ療法を試してみると多様な世界の表現をすることが示された。本事例ではその可能性を検証したものである。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
一　柳　智　子	1.「地域教育に関わる民俗芸能の意義－福島県における幼児教育課程学生に対する健康を目指した民俗芸能の授業より－」	単著	2017年３月（予定）	『郡山女子大学紀要』第53号	短期大学の社会的使命、小学校との接続を念頭においた幼児教育課程の心身の健康の授業の意義、東日本大震災からの復興の３根拠により、福島県内の田植踊の実技習得を含んだ授業の報告である。授業後に実施したアンケート調査の分析により、地元感への意識のアウェアネス・レイジングの契機を読み取ることができた。
	2.「原災による避難から帰還の間における民俗芸能の意義の変容－福島県浪江町請戸芸能保存会の動向を事例として－」	単著	2017年３月（予定）	『民族藝術』第33号	福島県浪江町の請戸芸能保存会の震災後の動向を事例とし、特に公演回数の増加に着目して、震災後の伝承状況を明らかにした。町民の郷土に対する思いが「郷土芸能」として解釈できる点について考察した。（科学研究費「民俗芸能に関わる震災復興ための伝承形態の再構築－福島県の田植踊を事例として－」（課題番号15K11946、平成27～29年度、代表一柳智子）の成果の一部）
早　川　　仁	（学術論文）「保育者養成校における地域連携に関する研究～学生の学びと地域貢献に着目して～」	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要第53集	本学幼児教育学科が行なっている地域連携活動を、「学生主体の活動」と、「教員による貢献」とに大別し、それぞれ３つの類型に整理した上で、実践の内容を詳細に報告した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	（作品発表） 「雪の華」 F－50号 油彩画	個人制作	会期 6/17～26	福島県総合美術展 福島県文化センター	現代という時代や地域環境を共に生きた証として日常的な情景や人物描写から、今、自分が感じ取った世界や内的心情を記録共有していく。 ＊県立美術館長賞受賞
	21点（F130～SM号） 出品 油彩画	同　上	会期 8/20～9/3	会津三遊画廊（個展）	同　上
	「雪の華」 F－50号 油彩画	同　上	会期 9/27～10/2	郡山女子大芸術鑑賞講座（創立70週年）	同　上
	「届けられしもの」 F－120号 油彩画	同　上	会期 11/9～11/15	現代童画展 東京都美術館	同　上 ＊銀座アートホール賞受賞
草　野　葉　子	（学術論文） 1．自然環境を取り入れた造形表現の実践（査読付）	単著	2017年3月	郡山女子大学研究紀要第53集	保育表現技術造形Ⅰで行っている「布による表現」について、自然環境を焦点とした表現活動と学生の学びを検証。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	（その他） ＜作品発表＞ １．第66回モダンアート展	単	2016年４月	東京都美術館 東京都上野	「明日へ架ける」 W83×H132.5㎝ 風景写真をモチーフとしたOHPフィルムと紙媒体による画像構成作品。
	２．第４回ふくしま在住作家展	単	2016年７月	アートスペース羅針盤 東京都京橋	「KA・TA・CHI－Ⅱ」 W80×H20㎝ 「まーるいKA・TA・CHI①」 「まーるいKA・TA・CHI②」 各W30×H40㎝ 植物をモチーフとしたOHPフィルムによる画像構成作品。
	３．第31回モダンアート福島支部展	単	2016年７月	ギャラリーアブドゥ 福島県会津若松市	「composition－樹」 W154×H98㎝ 樹木をモチーフとしたOHPフィルムによる画像構成作品。
	＜学会発表＞ ４．ものづくりとアートから始まる幼少期のエネルギー環境カリキュラム実践とその課題	共	2016年12月	理科教育学会第62回東海支部大会 於：名古屋女子大学	ものづくりとアートを起点として、「エネルギー」と「環境」を中心にした幼少期のカリキュラム開発の試み。 「ものづくり」について担当。木の実等の自然素材を使った造形表現を幼稚園児及び幼稚園教諭を対象に実践した結果を報告。 共同発表者：郡司賀透、草野葉子、伊藤哲章、小松太志

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
小　林　　徹	（著書） 1．ライフステージを見通した障害児の保育・教育	共著 （筆頭編者）	2016年12月	みらい B５型239頁 （分担） プロローグ pp14－15 第４章第９節 pp133－136 第５章第３節 pp152－154 第９章（共同） pp220－233	編著：小林徹、栗山宣夫 執筆者：小林徹ほか計29名 「障害児保育」のテキストだが、幼児教育を含めた「特別支援教育」や「インクルーシブ教育」を視野に入れた。
	（その他） （学会発表） 1．保護者との関係をどう構築するか－新任教師もつぶれないためのヒント－	共同	2016年９月	日本特殊教育学会 第54回大会 （新潟）	（企画）七木田敦（司会）松井剛太、佐藤智恵 （話題提供）水内豊和、真鍋健、河口麻希 （指定討論）小林徹 元中学校特別支援学級担任という立場から、教師の働きかけによって保護者が変わった経験について言及した。
山　上　裕　子	（著書） 1．自ら学ぶ道徳教育〔第２版〕	共著	2016年10月	保育出版社	「アメリカにおける道徳教育」を執筆。道徳が教科化されることに対応し、社会参加型の道徳教育に注目して書き改めた。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	（学術論文） 1．デューイにおける「生の素材」再考－内的素材を中心に－	単著	2017年３月	郡山女子大学紀要 第53集	プラグマティズムの動向を踏まえ、これまで研究してきた「生の素材」を内的素材を中心に再検討した研究。
	（その他） （口頭発表） 1．保育における事故について－データベースを読む－	単独	2017年３月	保育者養成教育学会 第１回研究大会	教員養成において、学校安全を教えることが義務づけられることになった。内閣府で公表されているデータベースを読むことをとおして、保育事故を保育者養成においてどう位置づけたらよいか、研究したもの。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
折　笠　国　康	（学術論文） １．折笠国康・庄司一子　本来感研究の動向と課題	共著	2017年３月	郡山女子大学 郡山女子大学紀要 第53集	本来感とは「自分自身に感じる本当らしさの感覚」のことであり、人の精神的な健康や心理的well-beingを支えるものであることが示されている。また、自尊感情の適応的な側面としても考えられ、精神的健康の指標として昨今の研究に登場している。しかしながら、本来感に関する研究は国内において始まったばかりであり、研究された量もまだ少ないのが実情である。本論文では、これまでの本来感に関する研究を概観し、研究の動向や今後に期待される研究の方向性について検討した。また、考察において、本来感研究のまとめと今後の研究の課題と方向性、時代が求めるこれからの学校現場での取り組みや実際の指導に関して、本来感をキーワードに提言した。
永　瀬　悦　子	（学術論文） １．東日本大震災後における児童を対象とした「命のつながり」の健康教育に関する研究～児童の学びの構造～（査読付）	単著	2017年３月	日本幼少児健康教育学会誌　第２巻第２号	東日本大震災後における健康教育実施後の児童には「命に対する価値観の獲得」を含んだ学びの構造があることを明らかにした。87－93頁。
	２．福島県の母子保健の変遷（２）～第二次世界大戦後から高度経済成長期までの助産師実践活動に着目して～（査読付）	単著	2017年３月	郡山女子大学紀要 第53集	出産や子育てに関わる開業助産師に着目して、第二次世界大戦後から高度経済成長期までの福島県の母子保健をまとめた。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３．地域中核病院の健康教育活動に関する出前講座の実態調査～出前講座の講師と講座の企画者の意識に着目して～（査読付）	単著	2017年３月	郡山女子大学紀要第53集	地域中核病院が地域に行う健康教育活動の実際を出前講座の講師と企画者の意識に着目して報告した。
	（その他） １．保育士養成施設における保育士資格取得予定学生の命の意味づけに関する研究	単独	2016年５月	第69回日本保育学会発表要旨集	保育士資格取得予定学生を対象とした命の意味づけを明らかにした。「生」の体験は命のつながりや母親役割認識に関係することを明らかにした。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
ポール・バーナミィ	（学術論文） １．Development of Continuing Education (C.E.) for Adults Paul Edward Vonnahme Daniel Orville Horner	共著	June 2016 to present	Koriyama Women's University： Volume 53	This paper summarizes the research value of "Continuing Education" (C.E.) from the point of view of enabling students with "Active Learning" as opposed to the more traditional lecture approach to education. Now students are diverse and more resourceful. They are free to choose studies or subjects. Additionally, education has become more competitive from the view of marketing to fill classrooms and even schools. We discuss the effectiveness of engaged students who repeatedly choose these C.E. classes, and why the students are persistently motivated as active learners.
伊　藤　哲　章	（学術論文） １.「幼稚園・保育所における生き物飼育に関する保育者の視点」	単著	2017年３月	『教材学研究』（日本教材学科）、第28巻	保育者を対象としたアンケート調査により、幼稚園・保育所における生き物飼育に関する保育者の視点を明らかとした。
	２.「幼児期の科学教育に関する保育者の意識－サイエンス・プロセス・スキルに着目して－」	共著	2017年３月	郡山女子大学『紀要』、第53集	保育者の科学的な視点について、米国科学教育の基礎的なサイエンス・プロセス・スキルの観点に基づき明らかとした。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３.「保育者養成校における地域連携に関する研究－学生の学びと地域貢献に着目して－」	共著	2017年３月	郡山女子大学『紀要』、第53集	保育者養成校である本学幼児教育学科における地域連携に関して、学生の学びの視点における連携と地域貢献としての連携について事例を取り上げ、今後の在り方について、考察を行った。
	（学会発表） １.「動物飼育における保育者の認識に関する研究」	共同	2016年４月	日本科学教育学会研究会（筑波大学）	幼稚園・保育所における動物飼育に関して、飼育する際の配慮事項等について質問紙調査をもとに発表した。
	２.「植物の成長に関する幼児の生物学的理解」	共同	2016年８月	全国保育士養成協議会研究大会（盛岡市）	サツマイモの植え付け活動を行った幼児の植物の成長に関する生物学的理解を調査し、発表した。
	３.「保育者の科学的な視点に関する一考察－基礎的なサイエンス・プロセス・スキルに着目して－」	共同	2016年11月	日本理科教育学会東北支部（弘前大学）	保育者の科学的な視点について、米国科学教育の基礎的なサイエンス・プロセス・スキルの観点に基づき発表した。
	４.「ものづくりとアートから始まる幼少期のエネルギー環境カリキュラム実践とその課題」	共同	2016年12月	日本理科教育学会東海支部（名古屋女子大学）	ものづくりとアートを起点にして、「エネルギー」と「環境」を中心とした幼少期のカリキュラム開発を試み、発表した。
	５.「幼児の生物概念に関する理解」	単独	2016年12月	日本科学教育学会研究会（秋田大学）	生物概念の中でも植物の成長に焦点をあて、幼児の理解について発表した。
	６.「保育者養成校における地域連携に関する研究－学生の学びと地域貢献に着目して－」	共同	2017年３月	日本保育者養成教育学会（白百合女子大学）	保育者養成校における地域連携及び地域貢献の今後の在り方について発表した。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
古　川　　督	（著書） １.『社会福祉の基本体系（第５版）』（勁草書房）	共著	2017年２月発行	勁草書房	井村圭壮、今井慶宗編著　執筆箇所：第８章「社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み」
	（学術論文） １.「保育者養成校における地域連携に関する研究～学生の学びと地域貢献に着目して～」	共著 執筆分担 柴田：2,44）②,44）③ 伊藤：44）①,45）①,5 古川：41）②,46）① 早川：42）① 猪股：41）① 仲西：3,43）① 三瓶：1,43）②	2017年3月発行	郡山女子大学紀要第53集	幼児教育学科の地域連携に関する多岐にわたる実践に関する研究（執筆箇所：41）②「施設との連携」，46）①「産学連携」）
	（学会発表） １.「保育者養成校における地域連携に関する研究－学生の学びと地域貢献に着目して－	協同	2017年３月実施	日本保育者養成教育学会（白百合女子大学）	保育者養成校における地域連携及び地域貢献の今後の在り方について発表。
柴　田　　卓	（学術論文） １．運動遊びにおける保育実践力に関する研究 ～フィンランドの事例と体育系授業の実践から～ （査読付き）	単著	2017年３月	郡山女子大学紀要第53集	運動遊びにおける保育実践力を高める取り組みとして、振り返りシートの活用と、フィンランドの事例を取り上げて考察を加えた。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	２．保育者養成校における地域連携に関する研究 ～学生の学びと地域貢献に着目して～ （査読付き）	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要 第53集	本学幼児教育学科における地域連携に関して、学生の学びの視点における連携と地域貢献としての連携について事例を取り上げ、今後の在り方について考察を行った。 （柴田卓、伊藤哲章、早川仁、古川督、猪股照子、仲西真美子、三瓶令子） 本人担当：2,44）②,44）③
	３．幼児期の科学教育に関する保育者の意識 －基礎的なサイエンス・プロセス・スキルに着目して－ （査読付き）	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要 第53集	保育者の科学的な視点について、米国科学教育の基礎的なサイエンス・プロセス・スキルの観点に基づき明らかとした。 （伊藤哲章、柴田卓、斎藤朋子） 本人担当　米国先行研究調査
	（口頭発表） １.「植物の成長に関する幼児の生物学的理解」	共同	2016年８月	全国保育士養成協議会研究大会（盛岡市）	サツマイモの植え付け活動を行った幼児の植物の成長に関する生物学的理解を調査し、発表した。 （伊藤哲章、柴田卓）
	２．幼児体育実践授業に関する一考察 ～ワークシートを活用した振り返りの検証～	単	2016年８月	日本幼児体育学会第12回大会　講演要旨・研究発表抄録集88頁	幼児体育実践授業において、振り返りを通して学生の能動的な学びを促すことを目的としたワークシートに関して考察を加えた。
	３．保育者養成校における地域連携に関する研究 －学生の学びと地域貢献に着目して－	共同	2017年３月	日本保育者養成教育学会（白百合女子大学）	保育者養成校における地域連携及び地域貢献の今後の在り方について発表した。 （伊藤哲章、柴田卓、早川仁、古川督、猪股照子、仲西真美子、三瓶令子）

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
猪　股　照　子	（学術論文） １．保育者養成校における地域連携に関する研究 ～学生の学びと地域貢献に着目して～	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要 第53集	保育者養成校である本学幼児教育学科における地域連携に関して、学生の学びの視点における連携と地域貢献としての連携について事例を取り上げ、今後の在り方について、考察を行った。 （柴田卓、伊藤哲章、早川仁、古川督、猪股照子、仲西真美子、三瓶令子） 本人担当：41）①
仲　西　真美子	（学術論文） １．保育者養成校における地域連携に関する研究 ～学生の学びと地域貢献に着目して～	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要 第53集	保育者養成校である本学幼児教育学科における地域連携に関して、学生の学びの視点における連携と地域貢献としての連携について事例を取り上げ、今後の在り方について、考察を行った。 （柴田卓、伊藤哲章、早川仁、古川督、猪股照子、仲西真美子、三瓶令子）
	（学会発表） １.「保育者養成校における地域連携に関する研究－学生の学びと地域貢献に着目して－」	共同	2017年３月	日本保育者養成教育学会（白百合女子大学）	保育者養成校における地域連携及び地域貢献の今後の在り方について発表した。
	（その他） １．第194回芸術鑑賞講座「学園美術系教職員作品展」	単著	2016年９月27日～10月２日	郡山女子大学　建学記念講堂ホワイエ	書「曲渚沙明舟載月　寒山雁落樹披霜」350×1360㎜

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
齋　藤　朋　子	（学術論文） 1.「幼児期の科学教育に関する保育者の意識－サイエンス・プロセス・スキルに着目して－」	共著	2017年３月	郡山女子大学『紀要』第53集	保育者の科学的な視点について、米国科学教育の基礎的なサイエンス・プロセス・スキルの観点に基づき明らかとした。
	（学会発表） 1.「保育者の科学的な視点に関する一考察－基礎的なサイエンス・プロセス・スキルに着目して－	共同	2016年11月	日本理科教育学会東北支部（弘前大学）	保育者の科学的な視点について、米国科学教育の基礎的なサイエンス・プロセス・スキルの観点に基づき発表した。
	（その他） 1．第194回芸術鑑賞講座「美術系教職員作品展」	単著	2016年９月27日～10月２日	郡山女子大学建学記念講堂ホワイエ	窪田空穂の短歌（かな書） 250×350mm
小　林　みゆき	（学会発表） 1.「動物飼育における保育者の認識に関する研究」	共同	2016年４月	日本科学教育学会研究会（筑波大学）	幼稚園・保育所における動物飼育に関して、飼育する際の配慮事項等について質問紙調査をもとに発表した。
浅　野　　章	1.第90回国展	単	2016年５月	国立新美術館 東京都港区六本木 その後、愛知県美術館ギャラリー・大阪市立美術館・福岡アジア美術館を巡回	「人の心の中にある原初的なもの。そして今の自分の記録としての“風景”。」というテーマを基に油彩画で表現した大型作品「感謝をしてます、お母さん」（227×182㎝）、１点を発表。
	2．国画13の視線展	単	2016年５月	ギャラリー向日葵 東京都中央区銀座	同上テーマの作品「若いおんな」を含め、２点を発表。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	3.「富士を描く」展	単	2016年５月	ギャラリーるたん 東京都中央区銀座	同上テーマの作品「富士燦々」を含め、２点を発表。
	4. 第70回福島県総合美術展	単	2016年６月	福島県文化センター 福島市	同上テーマの作品「母の思い出」、１点を発表。
	5. 遊Ａ会展	単	2016年６月	ギャラリー柏屋 郡山市	同上テーマの作品「ひかり女」を含め、２点を発表。
	6. 海の日芸術祭	単	2016年７月	小名浜オーシャンホテル いわき市	同上テーマの作品「夢で見た風景」を含め、３点を発表。
	7. 学園美術系教職員作品展	単	2016年９月	郡山開成学園建学記念講堂ギャラリー 郡山市	同上テーマの作品「母の思い出」、１点を発表。
	8. 上海城美術博覧会	単	2016年10月	豪貨精洗酒店ギャラリー 中華人民共和国上海市	同上テーマの作品「赤富士」を含め、４点を発表。
	9. 第60回郡山市総合美術展	単	2016年11月	郡山市文化センター 郡山市	同上テーマの作品「母の記憶」、１点を発表。
	10. 浅野アキラ展	単	2017年１月	ギャラリー惣 東京銀座	同上テーマの作品「ブルーアイ」を含め、20点を発表。
斉　藤　弘　久	1. 第30回新構造社茨城展	単著	2016年５月	茨城県立県民文化センター	「アングリマーラ」 シルクスクリーン・リトグラフ

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	２．ふるさと再生「日芸ふくしま江古田会第２回アート展」	単著	2016年６月	郡山市ビックアイ内ギャラリー	「HA-MU」食む（雀） シルクスクリーン・リトグラフ
	３．第62回福島水彩展	単著	2016年６月	郡山市民文化センター	「HA-MU」食む（猪） シルクスクリーン・リトグラフ
	４．第54回新構造社埼玉支部展	単著	2016年７月	埼玉県立近代美術館	「GO-TAMI」 シルクスクリーン・ジクレー
	５．第31回埼玉県版画家協会展	単著	2016年９月	川越市立美術館（埼玉県）	「PUNNA」 シルクスクリーン・ジクレー
	６．第88回新構造展	単著	2016年９月	東京都美術館	「HA-MU」食む（梟） シルクスクリーン・ジクレー
	７．第５回新構造東京展	単著	2017年２月	六本木 国立新美術館	「NIYA」（遠方） シルクスクリーン・ジクレー
	８．齊藤弘久 個展	単著	2017年３月	ギャラリー Art For Thought 東京銀座	前回の個展より２年間制作して来た作品の中から画廊選抜による企画展。仏教逸話や食物連鎖をテーマに制作している。
小　松　太　志	（学術論文） １．美術教育におけるルーブリック評価導入の妥当性の検討	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要　第53集	従来の評価との比較により、芸術教育においてルーブリックによる評価が妥当であることを明らかにした。
	（その他） １．モダンアート福島支部展	単	2016年８月	ギャラリー アブドゥ／福島県 会津若松市	美術団体モダンアート協会福島県支部による展覧会。 作品：「PaperVision Ⅰ」「PaperVision Ⅱ」

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	２．日本基礎造形学会2016秋田大会作品展	単	2016年９月	秋田公立美術大学／秋田県秋田市	日本基礎造形学会2016秋田大会の作品展。 作品：「PaperVision Ⅰ」
	３．学園美術系教職員作品展	単	2016年10月	郡山女子大学／福島県郡山市	郡山開成学園の美術系教職員による作品展。 作品：「Di-Vision」
	４．ANBD札幌特別コラボポスター展	単	2017年２月	札幌市民ギャラリー／北海道札幌市	冬季アジア札幌大会を支援するANBD協会主催のポスター展。 作品：「Split」（審査員特別賞）
松　田　理　香	（作品発表・展示会等）				
	１．2016現代童画会春季展	単	2016年４月４日～10日	会場：銀座アートホール（東京都中央区銀座）	主催：現代童画会 作品名：「wave」（S ８号） 主な材料：アクリル絵具
	２．2016現代童画会選抜展	単	2016年８月22日～28日	会場：銀座アートホール（東京都中央区銀座）	主催：現代童画会 作品名：「月魄」（S ８号） 主な材料：アクリル絵具・オイルパステル
	３．第42回現代童画展	単	2016年11月９日～15日	会場：東京都美術館（東京都）	主催：現代童画会 作品名：「波動」（S 80号） 主な材料：アクリル絵具
	（学術論文）				
	１．美術教育におけるルーブリック評価導入の妥当性の検討	共著	2017年３月	郡山女子大学紀要第53集	従来の評価との比較により、芸術教育においてルーブリックによる評価が妥当であることを明らかにした。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
黒　沼　　令	（その他）				
	1．第90回国展彫刻部	単	2016年５月	国立新美術館 東京都中央区	団体公募展。会員として「嘆息」（210×80×60㎝欅、桂）出品。
	2．第70回福島県総合美術展	単	2016年６月	福島市文化センター 福島県福島市	福島県主催の公募展。「物思いⅡ」（70×40×25㎝桂）出品。
	3．二日展	単	2016年８月	福島テルサ 福島県福島市	福島県の教員を中心としたグループ展。「静思」（170×70×40㎝欅、桂）出品。
	4．第22回不来方高校卒業生展2016	単	2016年８月	岩手県民 情報交流センター ギャラリーアイーナ	共同展示会。「物思いⅠ」（65×40×20㎝桂）「物思いⅡ」（70×40×25㎝桂）出品。
	5．郡山開成学園創立70周年記念学園美術系教員作品展	単	2016年10月	開成学園 建学記念講堂	共同展示会。「嘆息」（210×80×60㎝欅、桂）「物思いⅡ」（70×40×25㎝桂）出品。
	6．福島青年美術の展望展2016	単	2016年10月	あだたら高原美術館 –ao– 福島県二本松市	共同展示会。福島県内で活動する40歳以下の美術作家が作品を展示した。「うろ」（60×30×25㎝檜、欅）出品。
	7．第52回福島県彫刻会展	単	2016年11月	福島市文化センター 福島県福島市	共同展示会。「うろ」（60×30×25㎝檜、欅）「受容」（70×25×20㎝檜、欅）出品。
	8．第69回岩手芸術祭美術展	単	2016年11月	岩手県県民会館 岩手県盛岡市	岩手県主催の公募展。「静思」（170×70×40㎝欅、桂）出品。芸術祭賞受賞。
	9．第39回国展彫刻部秋季展	単	2016年11月	東京都立美術館 東京都台東区	共同展示会。国画会彫刻部の会員、準会員、受賞作家による展覧会。「受容」（70×25×20㎝檜、欅）出品。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	10. けやきチャリティ小品展	単	2016年12月	けやきラウンジ 岩手県花巻市	チャリティを目的とした共同展示会。「マスクⅠ」(50×20×10㎝テラコッタ)「マスクⅡ」(65×15×10㎝テラコッタ）出品。
	11. アートフェスタいわて2016	単	2017年３月	岩手県立美術館 岩手県盛岡市	共同展示会。「静思」(170×70×40㎝欅、桂）出品。
草　野　順　子	（その他）				
	１．第70回福島県総合美術展覧会	単	2016年６月19日 ～28日	福島県文化センター 福島県福島市	団体公募展。 『染まる』S50号。
	２．学園美術系教職員作品展	単	2016年９月28日 ～10月２日	郡山女子大学　建学記念講堂ホワイエ	グループ展。 『染まる』S50号。
	３．第60回郡山市総合美術展（前期）	単	2016年11月１日 ～７日	郡山市民文化センター　福島県郡山市	団体公募展。 『果て』F100号。
	４．あだたらの視点2016福島青年美術展の展望展（後期）	単	2016年11月18日 ～20日、25日 ～27日	あだたら高原美術館 青–ao– 福島県二本松市	グループ展。 『陽だまり』F30号、他１点。
岡　部　富士夫	（その他）				
	１．編曲 ・福島放送オープニング・クロージングの音楽		2016年９月１日 ～		弦楽四重奏
	２．指揮 ・JR演奏会		５月14日		郡山市民オーケストラ
	・お母さん合唱東北大会		６月12日		郡山女声合唱団、名取市

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	・ファミリーコンサート		6月25日		郡山市民オーケストラ
	・アンサンブルフェスタ		7月3日		合唱団「風」
	・郡山市お母さんコーラス祭り		9月19日		郡山女声合唱団
	・県お母さん合唱祭		10月9日		郡山女声合唱団、喜多方市
	・郡山市民オーケストラ定期演奏会		12月11日		郡山市民オーケストラ
深　谷　登喜子	（その他）				
	1．奏楽堂歌曲コンクール	共	2016年4月28日	東京台東区民センター	別宮貞夫・［淡彩抄］より
	2．福島県合唱コンクール	共	2016年9月4日	いわきアリオス大ホー	寺嶋陸也・花三題他
	3．郡山女子大学定期演奏会	共	2016年11月12日	郡山女子大学建学記念講堂	三善晃・三つの抒情
	4．須賀川音楽協会発表会	共	2016年11月13日	須賀川市文化センター	アーバン・華麗なる幻想曲
横　溝　聡　子	（その他） （演奏）				
	1．フルートで奏でるバロック音楽	共著	2017年9月20日	東京オペラシティ近江楽堂／東京都	バロック時代のフルート室内楽。クヴァンツ：トリオソナタ　イ短調、他5曲。チェンバロを担当。
	2．第47回郡山女子大学短期大学部音楽科定期演奏会	単著	2017年11月12日	郡山女子大学建学記念講堂／福島県郡山市	スクリャービン：ピアノソナタ第4番を演奏。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３．佐野悦郎リサイタル＆フルート室内楽	共著	2017年11月22日	東京オペラシティリサイタルホール／東京都	J.S.バッハ：協奏曲　ハ短調BWV1060を演奏。チェンバロを担当。
磯　部　哲　夫	（その他） 「演奏」 １．裏磐梯レイクリゾート　プレゼンツ　「磯部哲夫　テノールリサイタル」	単	４月16日	裏磐梯レイクリゾート　虹の森ロビー（福島）	シューマン：「詩人の恋　作品48」全16曲を演奏。 テノール：磯部哲夫 ピアノ：江川龍二
	２．クリスマスコンサート	単	11月４日	うすい百貨店　アーマ　テラスカフェ（福島）	イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲を演奏。 テノール：磯部哲夫 ピアノ：江川龍二
	３．第17回　高声会演奏会　「私の好きな歌」	単	11月９日	横浜みなとみらいホール（神奈川）	シューベルト：「漁師の恋の幸福」D933を演奏。 テノール：磯部哲夫 ピアノ：多田聡子
	「楽曲解説」 １．会津演奏家連盟第２回音楽の森コンサート	単	６月12日	會津風雅堂（福島）	バロック音楽についての音楽的特徴、社会的背景、哲学的思想の解説、修辞学的音楽解釈を解説した。
南　川　　肇	（その他） １．東京クラリネットフィルハーモニーサマーキャンプコンサート	共	８月13～15日	蔵王アストリアホテル	クラリネット４重奏曲 /多田栄一他
	２．東京吹奏楽団第63回定期演奏会	共	９月30日	東京芸術劇場	交響的序曲　/Ｊ.バーンズ他

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３．合唱団じゃがいも第43回定期演奏会	共	12月４日	山形市民会館大ホール	獅子踊りの始まり / 林光 クラリネットパート
	４．郡山市民オーケストラ第49回定期演奏会	単・共	12月11日	郡山市民文化センター大ホール	クラリネット協奏曲/モーツァルト 管弦楽のための協奏曲/バルトーク
	５．合唱団じゃがいも第43回定期演奏会　東京公演	共	１月29日	亀有リリオホール	獅子踊りの始まり / 林光 クラリネットパート
	６．第14回チャペルコンサート	共	３月20日	郡山市中央公民館	クラリネット４重奏/フランセ他
野　沢　謙　治	（著書） １．図説日本民俗学	共著	2017年３月	吉川弘文館	第５刷
	（学術論文） １．境界伝説と中世的世界	単著	2017年３月	福島の民俗45号（福島県民俗学会）	民俗の中に中世的信仰形態の残存を探る
	２．ふくしまの祭りと社会	学会発表	2016年５月	第58回印度学宗教学会学術大会	講演
齋　藤　美保子	（学術論文） １．浅井忠における洋行の美学－洋画と詩歌－	単著	2017年３月31日	民族藝術学会 民族藝術vol.33	明治の洋画家、浅井忠が洋行中に詠んだ漢詩２首は旧師、成島柳北の『航西日乗』から影響を受けた可能性が高いことを論じた。両者には二つの文化圏に精通し、自由に生きようとした粋な美学が見てとれる。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	２．郡山女子大学建学記念講堂第一緞帳小史－メタルビーズバッグからアルミ製大緞帳へ－	単著	2017年３月31日	郡山女子大学紀要第53集	創立四十周年を記念して1985年に学園総出で製作された第一緞帳は、メタルビーズバッグの作りから着想を得たものである。アール・デコの手仕事を復活させた倉橋佳子、それを引き継いだ三島瑶子、郡山で広めた関口富左、３人の女性の美意識の象徴として、第一緞帳の価値を再評価した。
何　　燕　生	（著書） １．『中国仏教と生活禅』（浄慧著）	共訳	2017年２月	東京・山喜房佛書林581頁	著者浄慧師の著書の三冊目の日本語訳である。企画と翻訳を担当。（共訳者井上浩一、何燕生、齋藤智寛、土屋太佑、西村玲）。
	（学術論文） １．近代的な物語における臨済および『臨済録』－方法論的考察	単著	2016年５月	『臨済禅師1150年遠忌記念　「臨済録」国際学会論文集』174頁～188頁。禅文化研究所（京都）	胡適、鈴木大拙、柳田聖山の三人における臨済禅師および『臨済録』の研究について、方法論の立場から考察した。三人は学問的な立場こそ異なるが、それぞれの語りには「近代的な物語」が共有されていることを指摘した。
	２．現代化叙事中的臨済以及『臨済録』	単著	2016年５月	『臨済禅師1150年遠忌記念　「臨済録」国際学会論文集』355頁～366頁。禅文化研究所（京都）	上記論文の中国語版。大会の規定では日本語版と中国語版の両方を提出するとされている。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	３．従比較哲学視域看『菊与刀』的東西文化叙事	単著	2016年11月	『“在比較中前進的中国哲学”暨第二回比較哲学学術研討会論文集』88頁～107頁。武漢大学哲学院（中国・武漢）	Ruth Benedictの『菊と刀』における「日本文化論」は実はアメリカ文化（多くはキリスト教文化）との比較において述べられたものであり、本論文は比較哲学の立場からその特徴を考察した。
	４．震災死亡与仏教的作用：以四川和日本東北大地震為例	単著	2016年11月	Natural/ Disasters Religion/Humanistic Concern自然災害・宗教・人文関懐国際学術会議論文集』67頁～68頁（要旨）、四川大学宗教学研究所（中国・成都）	研究分担者として参加した文科省科学研究補助金基盤研究（B）海外学術調「ポスト災害社会の社会的多様性と宗教に関する国際比較研究」による研究成果の一部をまとめたものである。
	５．試論当代日本大学生対生活禅的理解：一份大学生的課堂問卷調査報告	単著	2016年11月	『法雨中国普潤亜洲・人間仏教在東亜與東南亜的展開』322頁～346頁、香港中文大学人間仏教出版（香港）	昨年同学会で発表した論文の再録。単行本としての発行。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	６．臨済到底是誰？還有『臨済録』存在嗎？：関於近代中日禅学研究的一種方法論省察	単著	2016年12月	The International Conference on “Implementation of Humanistic Buddhism in East Asia and Southeast Asia”人間仏教在東亜與東南亜的実践国際学術研討会論文集（下）、155頁～166頁香港中文大学人間仏教研究センター（香港）	５月に京都で開催された前述の国際学会で発表したものの書き下ろし。
	７．近代禅学建構與現代化叙事：関於人間仏教未来発展的志向	単著	2016年12月	The 4th Symposium on Humanistic Buddhism 第四回人間仏教座談会 Symposium papers 13頁～15頁、台湾仏光山人間仏教研究院（台湾）	近代の禅学研究はテキストを絶対視し、現実の「生の禅」についての研究が欠如している傾向を持っている。本論文はその点を取り上げ、「社会参加」を特徴とする「人間仏教」を研究するに際して、そのような点への注意が必要であることを論じた。
	（その他） （学術講演など） １．虚実之間：従“一休哥”到一休禅師	単独	2016年５月４日	武漢大学哲学院「関愛我們的精神家園」シリーズ講演http://philosophy.whu.edu.cn/info/1037/1864.htm（中国・武漢）	メディアで創られた「一休さん」と歴史上の禅僧である一休禅師についてのイメージ（虚像）と実像を話題とした講演。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	２．課題研究「儀礼と社会」	単独	2016年５月28日	印度学宗教学会第58回学術大会（郡山女子大学）	コメンテーターおよび大会の実行委員長をつとめた。
	３．誰最了解日本？『菊與刀』的日本叙事世界	単独	2016年11月20日	経心書院読書会「11月読書会」、活動報告 www.jxsy1869.com（中国・武漢）	「読書会」という名になっているが、実際は一般市民向けの学術講演会。『菊と刀』を取り上げ、その特徴と近年中国でブームとなっていることなどを話題としたもの。
	４．近代禅学研究中的現代化叙事：以来臨済義玄研究為中心的討論	単独	2016年11月19日	武漢大学哲学院重建60周年記念系列高端学術講演会（中国・武漢）	近代中日における臨済研究の方法論的反省を話題とした講演。大学院生および若手教員を対象としたもの。
	５．武漢大学哲学院重建60周年校友論壇招待講演	単独	2016年度 11月27日	武漢大学哲学院重建60周年校友論壇（中国・武漢）	2016年は武漢大学哲学科が北京大学哲学科から分かれ、独立して60周年を迎えた節目の年に当たる。その一連の記念行事の最終盤であり、「外」から見た武漢大学哲学科のあり方について話した。
	６．『正法眼蔵』を読む会	単独	2016年５月20日、６月17日、７月22日、10月28日、12月16日、23日（６回）	曹洞宗福聚院（仙台市太白区）	昨年に続けて、今年も計６回講義した。震災から５年経ち、生活が一段落して、「古典」に触れたいという一般市民からの希望に応えるための読書会。今年は『弁道話』を読むことにした。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	７．『正法眼蔵』中国語訳の出版とその後	単独	2017年３月３日	第37回 永 平 寺 孝 順会・布教講座（曹洞宗大本山永平寺）	道元の主著『正法眼蔵』を中国語に翻訳出版してから14年も経ち、中国語圏における「只管打坐の会」が上海で発足されたり、道元を博士論文の研究テーマにしたりするなどの反響を話した。
	８．現代中国における仏教の社会参加について	単独	2017年３月３日	第37回 永 平 寺 孝 順会・布教講座（曹洞宗大本山永平寺）	介護福祉や自然災害などにおける中国仏教界の取り組みとその役割についての紹介。
桑　野　　聡	（学術論文） １．中世ヨーロッパにおけるアルプス山脈－ドイツ諸侯の事例を中心に	単	2017年３月	『郡山女子大学紀要』第53集　243～253頁	2016年６月にゴッタルド基底トンネルが開通したことを受けて、ヨーロッパの南北問題を中世ドイツ貴族の往来を例に考察し、神聖ローマ帝国と言う前近代的概念の形成が新しいヨーロッパ文化形成に一定の役割を果たしたことを論じた。
	２．学芸員養成課程の実質化と地域貢献の試み－郡山女子大学短期大学部文化学科を例として	共	2017年３月	『全博協　研究紀要』第19号　105～118頁	郡山女子大学短期大学部文化学科の学芸員課程で行っている実践的「博物館実習」を取り上げ、考古学と連携した授業、域文化施設と連携した展示実践が学芸員補養成に有効であること、地域貢献の効果があることを論じたもの。會田容弘・仲田佐和子との共著。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	（その他） １．エコミュージアムから考える博物館の未来－平成28年度全国大学博物館学講座協議会東日本部会に参加して	単	2017年３月	『文化学科資格課程報告集』第19集　60～61頁	平成28年10月22日に東海大学で開催されたシンポジウムと23日の箱根地区の博物館施設見学の様子をまとめ、博物館が担う問題を確認すると共に、その養成機関としての役割を考察した。
	２.『キャリアデザイン－初年次教育から実践的就職活動へのサポート』改訂版	共	2017年３月	郡山女子大学　教養・キャリア教育委員会	共通基礎科目「キャリアデザインⅠ」15回分の教材を検討し、改訂版を作成した。
會　田　容　弘	（学術論文） １.「楢ノ木平遺跡の石刃製作技術変異」	単著	2016年10月	新潟県津南町教育員会信濃川火焔街道連携協議会『津南シンポジウムⅩⅡ予稿集　津南段丘の杉久保石器群』pp.129－137	楢ノ木平遺跡資料の母岩GHS01の分割された９つの個体の製作技術を比較し、それらの製作者が石器製作技術の程度を評価し、複数の製作者によって石器製作が行われたことを証明した。
	２.「シンポジウム「東北日本の旧石器時代研究－回顧と展望－」の開催にあたって」	単著	2016年12月	『第30回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集　東北日本の旧石器時代研究－回顧と展望－』p.２	第30回東北日本の旧石器文化を語る会で行われたシンポジウムの開催趣旨を述べた。
	３.「笹山原遺跡No.16第16次発掘調査」	単著	2016年12月	『第30回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集　東北日本の旧石器時代研究－回顧と展望－』pp.68－74	2016年に実施した笹山原遺跡No.16の旧石器時代の調査成果である。この調査で放射性炭素年代測定で３万年前の焚火跡を確認したことは特記される。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
	４.「2016（平成28）年度文化学科考古学発掘実習報告－笹山原遺跡No.16第16次発掘調査－」	単著	2015年３月	『文化学科（資格課程）報告集』第19集	2016年に実施した笹山原遺跡No.16の調査報告である。平安時代の竪穴住居跡に焼成に失敗した土師器や焼成の際に生じた産業廃棄物である焼土や炭化物がその焼成方法をしめすものであることを論じた。
	５.「学芸員養成課程の実質化と地域貢献の試み－郡山女子大学短期大学部文化学科を例として－」	仲田佐和子・桑野聡と共著	（2017年３月31日刊行予定）	『全博協　研究紀要』第19号　pp.105～118	郡山女子大学短期大学部文化学科の学芸員課程で行っている実践的「博物館実習」を取り上げ、考古学と連携した授業、域文化施設と連携した展示実践が学芸員補養成に有効であること、地域貢献の効果があることを論じたもの
仲　田　佐和子	１．学芸員養成課程の実質化と地域貢献の試み－郡山女子大学短期大学部文化学科を例として－	會田容弘・桑野聡と共著	2017年３月	『全国大学博物館学講座協議会研究紀要』第19号	郡山女子大学短期大学部文化学科の学芸員課程で行っている実践的「博物館実習」を取り上げ、考古学と連携した授業、地域文化施設と連携した展示実践が学芸員補養成に有効であること、地域貢献の効果があることを論じた。
	２．平成28年度博物館実習報告	単著	2017年３月	『文化学科（資格課程）報告集』第19集	博物館学外実習４施設の報告を考察し、次年度の博物館実習授業を展望した。
	（その他） １．企画展「発掘ガール笹山原遺跡の調査」	会津若松市歴史資料センター（まなべこ）と共同	2016年６月11日から７月18日	会津若松市歴史資料センター（まなべこ）	会津若松市笹山原遺跡の調査成果を市民に広く紹介することを目的に、博物館実習の展示実習の一環として企画展を行った。

氏　　名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
佐　藤　愛　未	（学術論文）				
	１．2016年度オープンキャンパス模擬授業「古文書の世界にふれてみよう」	単著	2017年３月	『文化学科（資格課程）報告集』第19集	平成28年度に実施されたオープンキャンパスについて、模擬授業の内容をまとめた。
	２．平成28年度地域文化論概要報告	単著	2017年３月	地域文化論集第２集「郡山再発見」	本年度実施した「地域文化論Ⅰ・Ⅱ」の講義概要について報告した。
	（その他）				
	講座「房総における藩校～大多喜藩明善堂～」	平成28年度上総大多喜城立葵の会歴史研究講座	2016年10月８日	大多喜町中央公民館（千葉県夷隅郡大多喜町）	上総国大多喜藩（現在の千葉県夷隅郡大多喜町）が設立した藩校「明善堂」の歴史について、近世の教育や安積艮斎との関係と併せて紹介した。

【社会活動】

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
関口　修	医療法人安積保養園　あさかホスピタル	理事 事業計画、収支予算に関する検討
	一般財団法人短期大学基準協会	理事長 短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る
	日本私立短期大学協会	会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与
	私立短期大学教育振興会	会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応
	全私学連合代表者会議	短期大学　代表 全私学の振興、諸施策等について協議
	日本私立学校振興・共済事業団運営審議会	委員 私立学校の教育、充実、向上、その経営の安定及び福利厚生を図るため、補助金の交付、資金の貸付援助に必要な業務に資す
	日本私立大学協会 　　仝　東北支部	評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること
	福島第一原発事故被害のため原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す
	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議	顧問 オリンピック・パラリンピック教育の推進、大会機運の醸成等取組を進める

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
影山　彌	郡山市情報公開審査会	委員。 郡山市情報公開制度の運用状況全般や、公文書一部開示決定に係る異議申し立てについて審議し答申をまとめる。
	郡山市個人情報保護審査会	副委員長。 郡山市民の個人情報の保護に関して広く審議する。
	家政学原論部会東北・北海道地区委員	当地区大学における家政学原論研究を振興し、家政学の学問的確立を促進する。
石堂常世	日仏教育学会　名誉会員	日仏教育学会の創設以来、35年間理事、うち25年間事務局長兼理事、会長３期９年にて、平成27年10月25日の研究大会をもって会長退任。平成28年１月以降名誉会員となる。大会（総会・日仏シンポジウム）をはじめ、当学会活動に全面的バックアップをした。
	公益財団法人　日工組社会安全財団　評議員	日本社会の治安維持、社会安全のための多方面にわたる研究助成を促進することを目的とする公益財団法人の評議員として、年数回の評議員会出席、助成金交付の審議等。
	早稲田大学社会安全政策研究所　客員研究員	本研究所の創設時より少年非行防止、社会安全のための施策の共同研究にたずさわり、共著、論稿をものしてきたが、早稲田大学定年退職後は客員研究員として月例研究会に可能な限り出席することになっている。
	福島県文化振興審議会　委員	第６期委員：平成26年11月７日～平成28年11月６日の任期。 福島県文化振興基本計画の理解と意見提示、質疑応答。

氏　　名	審　議　会　・　委　員　会　等　名	職　務　・　活　動　内　容
	一般社団法人福島県医療福祉関連教育施設協議会　副理事長	平成28年４月にポラリス保健看護学院を中核機関として発足した医療・福祉・介護等の隣接領域を相互連携させた総合的教養・技術をもつ人材育成のための協議会。郡山の３大学と専門学校数校がメンバーとなっている。初年度研修会をポラリス保健看護学院と星総合病院を活用して７月、８月に終えた。本学２名の教員と共に、副理事長として開会から修了式まで参加した。本学研修参加学生６名。 尚、県内高校生への進学相談会を研修会に先立って開催したが、本学もブースを設けて参加した。本学には、栄養士希望の高校生が訪れた。
	郡山市都市計画審議会　委員	都市計画見直しプラン策定に参加し、現在２期目に至り、郡山市立地適正化計画の実施に関する年数回の会議に出席した。
	郡山市環境審議会　委員	都市計画審議会に隣接する環境問題の審議体であるが、当面は、国土交通省の推進する低炭素まちづくりのための対策をはじめ、この課題を中核とする快適で便利な都市づくり政策を多角的に審議する。
	郡山市教育委員会 ４大学協定における学生ボランティア事業推進委員	郡山市教育委員会が平成27年度に開始した「地域を生かした教育環境パワーアップ事業」に本学代表として参加協力。郡山の公立小・中学校の子どもの学習支援をボランティア活動として学生に勧める。児童生徒の主体的学びの意欲を学生の指導によってアップし地域力を生かす事業は、同僚の佐久間邦友講師の尽力を得て、２年目の今年は14名の参加者を得た。平成29年３月15日、教育委員会にて総括会議、次年度継続の見込み。
	きたかた応援大使（市長任命）	きたかた応援大使制度は、喜多方市の魅力を全国に発信し、市のイメージアップや産業・観光および教育文化の振興など、市の活性化を図るため設置された制度で、任期は当初２年、現行４年。前市長の「喜多方ふるさと大使」誕生年度より委任され、10年余にわたり継続関与している。 平成28年11月２日、喜多方プラザ文化センターにおいて、喜多方市合併10周年記念式典が挙行され、招待参加。続いて、市長以下幹部職員との意見交換会に出席し、よりよいまちづくりについての意見を述べた。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	全国私立大学教職課程研究連絡協議会 （全私教協）	本学で教職課程主任を務める関係で本協議会に出席している。全国大会と、東北地区大会の２段階があり、そこでの協議内容や文科省の教職課程認定の改正要点等について情報聴取する。春季大会は仙台で、秋季大会は京都で開催され、郡山市大学生ボランティア学校派遣の経緯と成果を報告発表した。いずれも論稿となってまとまった。
武　井　玲　子	平成28年度こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議	郡山市の関係団体・企業等の情報交換を通じ、女性活躍を推進
	郡山市男女共同参画学習サポート事業「さんかく教室」	社会福祉法人向日葵会「ひまわり保育園」にて「働く女性のためのキャリアデザイン」講演の講師（2016／10／22）
	福島民報「民報サロン」投稿コラム 2016年１月４日～４月30日	福島民報2016年１月４日～４月30日にかけて６回記事投稿 「①がん体験と母への報告、②父の期待した教師の道、③気になる木。ムクロジ、④介護施設の音楽会、⑤旅の苦い経験、⑥ペットとの暮らし
	（一社）日本家政学会色彩・意匠学部会（役員）	研究者間の共同研究推進、交流を通して、色彩・意匠学の学術研究成果を高め、家政学の発展に寄与
小　阪　康　治	一般財団法人 ふくしま医療機器産業推進機構	倫理担当委員
山　形　敏　明	公益財団法人郡山市観光交流振興公社	評議委員として評議委員会に出席（2016年６月迄）
	福島民友新聞	福島民友新聞「知の現場」取材、2016年10月18日掲載
難　波　めぐみ	福島県文化振興審議会	委員 本県の文化振興を図るため、文化振興審議会が設置され、本県の文化振興の在り方等について審議した。
	郡山市技能労働者選考委員会	委員 技能を通じて永く市の産業発展に貢献した卓越技能者の選定及び表彰
	日本家政学会　色彩・意匠学部会	委員 部会のＨＰ作成担当

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	中央公民館主催事業	「中央キッズスクール」企画・運営の協力
	平成28年度KGCサマーリフレッシュプログラム（教員免許更新講習会）	選択領域　家庭科講師 「快適な衣生活」について講義及び実習を担当した。
石　原　正　道	SSHサイエンスアドバイザー	スーパーサイエンスハイスクール（SSH）におけるサイエンスアドバイザーを担当した。
	平成28年度KGCサマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）	教員免許状更新講習の講師として、選択必修領域Ⅰ・情報（教育の情報化）のⅠ・Ⅱ時限を担当した。
熊　田　伸　子	郡山市介護保険運営協議会	委員（副委員長） 郡山市の介護保険事業の実施状況、介護予防・日常生活支援総合事業、サービス事業所の整備等について審議した。
	郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、地域包括ケアシステムの構築について協議した。
	郡山市地方社会福祉審議会	委員（副委員長）
	高齢者福祉専門分科会	高齢者福祉に関する郡山市からの諮問事項について審議した。
	郡山市安全で安心なまちづくり推進協議会	委員 市民の安全・安心な生活のため、地域の実情を分析、その対応を協議した。
	放送大学福島学習センター面接授業 「高齢期を支える福祉・地域」	講師 住み慣れた地域や自宅で生活を続けていくための適切なサービスの選択、地域に存在する社会資源について講義した。（平成28年６月18日・19日）
	社会福祉法人くわの福祉会	監事

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	社会福祉法人桜ヶ丘福祉会	理事、評議員
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
佐藤典子	国民生活センター主催 簡易実験講師養成講座	全国の地方自治体や公共団体職員を対象に親子教室や消費生活展で簡易実験講座を企画・実施する際のノウハウについて実際に科学実験体験を交えて講演した。
	愛知サマーセミナー	特別講演講師　　テーマ「N.SATOの生活科学実験～塩分～」
	伊達市消費生活センター	小学生親子を対象にした生活科学実験講座で講師を務めた。
	日本食生活学会評議員	平成26年度より、評議員を拝命している。
	郡山市消費生活審議会委員	平成26年10月より２年間の任期で委員を拝命し、任期満了後の平成28年10月からは、２期目の委員を務めている。
堀　琴美	福島県立医科大学ハラスメント対策委員会	委員　ハラスメントの調査確認およびその対応についての審議、ハラスメント防止に関する審議、規約改正等の審議等。
	エフパネット福島 （福島虐待問題研究会）	理事　福島県を中心に、虐待問題に関する広報活動や研究活動、相談業務などを行う団体で、運営の支援や相談技術の指導・訓練を行っている。
	郡山市男女共同参画サポート事業 さんかく教室 （郡山市主催）	講師　郡山市の男女共同参画推進をサポートし、市民への啓発を行う出前講座で「デートDV防止講座」「DV・虐待の被害者支援」を担当。 今年度は国際ソロプチミスト郡山の会員研修会への出前講座で、「DV被害者支援・女性の自立支援」をテーマに講演を行った。
	保育士再就職支援研修会 （郡山市保育士・保育所支援センター主催）	講師　「子どもたちの笑顔を求めて」～心豊かな人間関係の築き方～と題し、アサーティブなコミュニケーション技術の講習を行った。
	エフパネット福島 公開講演会 （福島虐待問題研究会主催）	講師　一般市民を対象とする公開講演会で「進化するゲームとメディアバイオレンス～テレビと模倣と子どもの仮想現実～」と題し講演を行った。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	平成28年度第１回エンジェルサポート自立支援プログラム （NPO法人エンジェルサポート主催）	講師　福島県内の児童養護施設や里親のもとを離れて自立する18歳（高校３年生）を対象に行うライフスキルトレーニング。その連続講座第１回目を担当。「スマホに潜む危険性」と題し講演を行った。
	泉崎存立泉崎中学校 教育講演会 （泉崎中学校・PTA教養委員会主催）	講師　泉崎中学校の全校生徒、授業参観出席保護者、教職員を対象に、「インターネットを取り巻く危険」と題して講演を行った。
	「みんゆう随想」の執筆 （福島民友新聞社）	福島民友新聞の「みんゆう随想」執筆者（15人）の１人。年10回程度の執筆を2013年より３年間担当した。
阿　部　恵利子	平成28年度郡山女子大学サマーリフレッシュ講師	平成28年度郡山女子大学サマーリフレッシュ（教員免許更新講習）選択領域の講師を務める。2016年８月
廣　野　正　子	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業企画・運営の協力
	東北ブロック会教員研修会福島大会実行委員会	委員長 東北ブロック会介護福祉士養成校の教員を対象に、資質向上と介護福祉士養成の展望と課題について研究協議を行う研修の企画・運営
	色輪っかワークショップ	実行委員 福島県内を繋いで東日本大震災の復興を図るワークショップを薄磯、会津での企画・運営
長　田　城　治	日本建築学会東北支部歴史・意匠部会　委員	歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に委員として携わった。
	日本建築学会民家小委員会　委員	民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告などを行った。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	福島県国見町「国見町歴史的風致維持向上計画」調査員	「国見町歴史的風致維持向上計画」（文部科学省・農林水産省・国土交通省認定）で策定した歴史的風致維持向上に関する事業の中で、国見石の保存・活用調査事業を担当し、国見石に関する採掘や石切り場の調査および歴史的建造物の文化財への指定、国見石関するイベントの企画・運営に関わった。
	高畠石の会　顧問	「高畠石の会」（山形県高畠町）の顧問として、高畠石に関する調査活動や高畠石の広報活動を行った。
	行政受託調査事業：旧小坂村産業組合石蔵の登録有形文化財指定に向けた調査	昭和初期建築の旧小坂村産業組合石蔵（国見町）について各種調査を実施し、図面や所見の執筆を行った。同建物は、平成28年に国登録有形文化財（建造物）に認定され、文化財認定プレートの除幕式において建物に関する説明を行った。
	行政受託調査事業：ぬる湯温泉旅館二階堂の登録有形文化財指定に向けた調査	明治初期に建築されたぬる湯温泉旅館二階堂（福島市）の３棟の建物について登録有形文化財（建造物）に指定するための調査を実施し、申請に必要な所見の執筆を行った。
	講習会：平成28年度ヘリテージマネージャー育成講習会講師	講演発表「国見町石造建造物調査報告書について」主催：福島県歴史的建造物保存活用促進協議会
	講演会：平成28年度郡山女子大学人間生活学科市民講座講師	講演発表「建築のみかた－歴史的建造物を100倍楽しむ方法」主催：郡山女子大学人間生活学科
	講演発表：国見のお宝再発見　石工フェスin石蔵	文化遺産の活用イベント「石工フェス」（国見町）の中で、「国見石ってなんだろう？国見石の採掘の歴史」と題した講演発表を行った。主催：国見町、郡山女子大学人間生活学科建築デザインコース　講演：国見町、国見町教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社　協力：JAふくしま未来、福島県瓦工事組合連合会青年部

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	パネルディスカッション：日本建築学会大会2016 建築歴史・意匠部門PD	日本建築学会民家小委員会の委員として、パネルディスカッション「民家における近代化の様相－ひとびとは近代化をどう受け止めたか」において「材料と民家：石材供給から見た民家の近代」と題した講演発表を行った。主催：日本建築学会
	体験イベントの企画・運営：国見お宝再発見　石工フェスin石蔵	国登録有形文化財に認定された旧小坂村産業組合石蔵を会場とする国見石に関するイベントの企画・運営に携わった。主催：国見町歴史まちづくりフォーラム、郡山女子大学人間生活学科建築デザインコース　後援：国見町、国見町教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社　協力：JAふくしま未来、福島県瓦工事組合連合会青年部
佐久間　邦　友	日本教育事務学会	理事 平成27年12月から現在に至る。
	日本学習社会学会	事務局幹事 平成28年９月から現在に至る。
	郡山市教育委員会	平成28年度４大学協定における大学生ボランティア事業推進委員
	東北労災看護専門学校	非常勤講師 「教育学」を担当
	郡山看護専門学校	非常勤講師 「教育学」を担当
	国際メディカルテクノロジー専門学校	非常勤講師 「教育学」を担当
	日本大学工学部	非常勤講師 「教育制度論」を担当

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	福島県公立小中学校事務研究会　学校事務研修会	講演・講師 テーマ：学校事務と学習支援の関係性～学校事務に「できる」こと・「できない」こと～
	全国公立小中学校事務職員研究会　第48回全国公立小中学校事務研究大会　山形大会	第７分科会　助言者兼シンポジスト 部会テーマ：未来をひらく学校事務を創造しよう－子どもたちのために一歩先へ－
添　田　祐　司	平成28年度日本地域福祉学会東北部会 福島県地域福祉実践セミナー	セミナーの実行委員（会計）として企画・運営にあたり、司会を務めた。
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
	郡山女子大学人間生活学科主催 市民講座「暮らしの１ページ」	「支え合いのまちづくり－地域福祉活動のススメ－」について講演を行った。
紺　野　信　弘	郡山市あさかの学園大学	講師・「生涯学習講座」
	放送大学学園	非常勤講師・面接授業（福島学習センター）
	日本衛生学会	評議員として会の運営に協力
諸　岡　信　久	日本農芸化学会東北支部会	参与（平成28年４月１日～現在に至る）
	アカデミア・コンソーシアム福島（文部科学省・大学間連携共同推進事業） 大学が発信する「入学前教育」・放射線の状況・対策に関する情報発信担当委員	委員（平成28年４月１日～現在に至る）
	郡山テクノポリス推進機構研究評価委員会	委員（平成28年４月１日～現在に至る）
	郡山市六次化事業「鯉に恋するプロジェクト」	鯉の機能性分析（平成28年４月１日～現在に至る）

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	受託研究 「氷感庫内での微生物の増殖について」	（株）以輪富との共同研究で、食材の保存と熟成に関与している微生物について研究している。（平成28年４月１日～現在に至る）
	福島県／郡山女子大学連携事業（日本原子力研究機構協力）「放射線除染による環境再生について」	福島県と郡山女子大学学生サークルNLS部による市民への放射線の説明と内部被ばくの理解を目的とし，震災や原発事故についての郡山女子大学の取り組みについて発表した。また、ホールボディ車による内部被ばく測定をした。本件に郡山女子大学環境委員会委員とNLS部の顧問として尽力した。（平成28年10月１・２日）
	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2016出展	郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況等の取り組みを発表（平成28年10月19・20日）
藤　原　建　樹	公益財団法人てんかん治療研究振興財団理事	理事として財団の運営にかかわった。
	郡山市災害給付金審査委員長	委員長として災害給付の適否を審査した。
西　山　慶　治	福島県立医科大学倫理委員会専門部会員	福島県立医科大学で実施する臨床試験研究に対する倫理審査の職務を２年間担当する。
	第36回人体解剖トレーニングセミナー	名古屋大学医学部で開催のセミナーで、医療系大学や養成校の解剖学の教官に対して人体解剖実習を指導した。
	福島県立医科大学で人体解剖学の講義と実習指導	非常勤講師として医学部２年生に解剖学の講義と実習をそれぞれ２回と４回実施した。
	仁愛看護福祉専門学校並びに仁愛高校専攻科（会津若松市）で解剖学の講義と実習の指導	非常勤講師として看護学の学生に解剖学の講義と実習を行った。
	放送大学での面接講義	「ヒトの機能解剖と比較形態学」の面接講義を２日間８コマにわたり行った。広い年齢層に形態学をお話しした。
鍬　野　信　子	ユースカレッジ木曜クラブ	講師：勤労青少年主催。郡山市在住・在勤の35歳までの未婚の男女を対象に、「大人のお酒の嗜み方」について講演を行った。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	調理師試験予備講習会	講師：県南調理師会主催。調理師試験受験予定者を対象に、調理師試験対策のための予備講習を行った。
	郡山市食育推進協議会	会長：郡山市食育推進計画の進行状況、その他食育の推進に関すること等について会務を総理した。
	福島県卸売市場審議会	委員：「第９次福島県卸売市場整備計画（案）」の審議に携わった。
	量子放射線利用普及連絡協議会	構成員：一般社団法人 日本原子力産業協会主催。限られた社会的資源の効果的活用のための理解促進および放射線教育の普及、充実について意見交換を行った。
	平成28年度 第13回 市民フォーラム	講師：食物栄養学科主催。ユネスコ無形文化遺産「ベルギーのビール文化」について講演を行った。
	秋の大試飲会	福島県南酒販株式会社主催。主催者とのコラボ企画で、郡山女子大学ブース「あなたの生まれ月をテキーラで！」を出展した（於、ホテルハマツ）。
	アサヒビール園メニュー共同開発（第６弾）	ビール園にて提供するメニューとして、成人女子学生が考案した福島県産品を使用した新メニューについて、共同開発に携わった。
	棚倉町活性化策に関する協力	株式会社ルネッサンス棚倉主催。地方創生事業の一環として、健康をテーマとしたイベント及び宿泊パックの助言をした。
菊　池　節　子	郡山市スポーツ推進審議会	委員 郡山市のスポーツ事業計画策定案の検討等に携わっている。
	「郡山市子どもの心と体の発育見守り事業」調査研究委員会	調査委員 郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催調査研究委員会において、子どもの生活習慣の実態把握調査並びに対応策の検討に携わっている。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	福島県きのこ料理コンクール	審査委員 第１回福島県きのこ料理コンクールに係る一次審査ならびに本審査において、審査員を務めた。（平成28年11月21日・12月17日）
	平成28年度小野町国保ヘルスアップ事業 「ヘルシー料理教室」	講師 小野町住民を対象に、「減塩調理のポイント」の講話と実習を通して、参加者の健康増進と疾病予防意識の高揚を図った。（平成28年５月17日）
	郡山市行徳公民館主催事業 「ハッピー　ベビー講座」	講師 生後３ヶ月～１歳３ヶ月までの乳児と母親15組を対象に、子育て応援講座の一環として、離乳食の上手な進め方のポイント、注意点について紹介した。（平成28年７月15日）
	平成28年度KGCサマーリフレッシュプログラム （教員免許状更新講習会） 「カルシウムを積極的に摂りましょう！」	選択領域家庭科講師 教員免許状更新講習会受講生を対象に、不足しているミネラルのカルシウムを取り上げ、カルシウム摂取のコツ、調理の工夫と実践等について、講義と実習を通して紹介した。（平成28年８月３日）
	郡山市桃見台地区公民館主催事業 「トライキッズスクール」	講師 小学生を対象に、「夏のこだわりクッキング」の体験活動を通し、心身共に健やかな青少年の育成を促す企画に携わった。（平成28年８月８日）
	JA福島さくら農産物６次化事業 「あさか舞と地元農産物を使用した弁当の製作」	郡山女子大学食物栄養学科学生考案「あさか舞弁当」市販にむけて、JA福島さくらとの共同開発に携わった。
	復興庁ハンズオン支援 「郡山ブランド向上に向けた魅力連携プロジェクト」	郡山市逢瀬地区の郷土食「キャベツ餅」のブランディングや新商品開発、それらを通した地域づくりへの協力を行っている。
	古殿町ひまわりSUN 「古殿町における通年での米作りイベント」	古殿町に昔から伝わる保存食である「ごんぼっ葉凍み餅」のもち米作りから、加工、販売までの一連の活動への協力を行った。
	日本家政学会　食文化研究部会	東北・北海道地区委員として会の運営に携わっている。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	日本調理科学会	代議員として会の運営に携わっている。
	公益社団法人　福島県栄養士会	常務理事として会の運営に携わっている。
	第63回日本栄養改善学会学術総会	学術総会実行委員会委員として、学会運営企画等に携わった。
安田純子	オーストラリア学会	理事・編集委員、学会運営・大使館ならびに豪日交流基金関連行事・学会誌「オーストラリア研究」編集
	日本観光学会	北海道・東北支部評議委員、学会実施
	国際女性の地位協会	編集委員、「国際女性」（尚学社）編集
	第27回福島県留学生交流推進会儀・第28回福島県留学生交流推進会儀運営委員会	構成員・運営委員、第27回福島県留学生交流推進会儀参加・第28回福島県留学生交流推進会儀運営委員会参加
	郡山市国際交流協会	運営委員、協会関連事業の運営・委員会参加
関口　晋	日本私立短期大学協会　運営問題委員会	私立短期大学の管理運営や教育制度等に関する研究
	公益財団法人郡山市観光交流振興公社評議員会	地域社会の発展と潤いのあるまちづくりに寄与することを目的とし、民間非営利部門の活動の健全な発展を推進するとともに、それまでに公益法人制度に見られる様々な問題に対応する。
岡部聡子	小野町国民健康保険事業「ヘルシー料理教室」	講師　基礎代謝量の測定を実施し、１日に必要な適正エネルギーについて伝えるとともに、健康の維持増進に向けた減塩・野菜量アップを目指したヘルシー料理教室を実施した。
	郡山市総合地方卸市場運営協議会委員	協議会委員として年数回行われる会議に参加した。
	第３回郡山市食育推進ボランティアスキルアップ研修会「離乳食について」	食育を推進する目的で、郡山市が実施している食育推進ボランティア受講者に対して、離乳食の基本をテーマに講習会を実施した。
	附属高等学校卓球部 「バランス弁当のコツ」	附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、日々の弁当作りのポイントについて料理教室を開催した。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
先　﨑　和　子	更生保護女性会	会員 地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに，青少年の健全な育成を助け，犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力する。
	ふるさと暮らし支援センター	理事 交流人口及び定住人口の拡大を図るため、移住希望者へPR活動や移住者への支援のほか、田舎料理づくり等の移住体験・交流を行う。
	小野町国民健康保険保健事業 「ヘルシー料理教室」	講師　小野町の一般町民を対象に、健康増進と疾病予防意識の高揚を図ることを目的として、生活習慣病予防の調理実習を行った。(2016.７.５)
	第11回食育全国大会	食育全国大会に出展し、健康な心と体をはぐくむためにお弁当詰め体験によりバランスのとれた食事について考え食事の大切さを認識する機会となった。骨密度測定し、自分の骨量を確認し、食事の改善につなげる機会となった。(2016. 6.11)
	チャレンジふくしま県民運動	委員 県民一人ひとりが、健康へ向けた取り組みを実践していくことで、心身の健康に繋げ、人も地域も笑顔で元気にしてく事業の開催。(2016.８.３)
	郡山女子大学・JA福島さくら 連携体験研修農園事業	遊休農地や篤農家などの人材を活用し、農業の経験のない学生に、農業体験・研修をとおして農業の良さや農業は担う地域の役割等の再認識を図った。(2016. ９.５　11. ９)
	須賀川市新栄町町内会健康教室	骨密度測定結果から骨粗鬆症予防の食事についてリーフレットにより再認識を図った。(2016.10.14)

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	西会津町「健康がいちばん推進事業」	町民参加型健康まつりに出展し、お弁当におかずに見立てた手芸品をバランスよく詰める体験を通して食生活改善と食育を図った。（2016.10.16）
亀田明美	福島市西部学校給食センター調理業務委託者選定審査委員会委員	審査委員長 福島市より委嘱を受け、福島市西部学校給食センターの調理業務について、民間企業の技術力や経営感覚を導入してより効率的に学校給食を運営するため、公募型プロポーザル方式で委託業者を選定する審査に携わった。
	学校における食育推進委員会	委員 福島県教育委員会主催の、「学校における食育推進プロジェクト事業」に、委員として携わった。
	三春町立三春中学校・スーパー食育スクール事業推進委員会	委員 文部科学省主催「平成28年度スーパー食育スクール事業」の指定を受けた、三春町立三春中学校の食育推進に委員として携わり、学校給食の摂取量調査等に協力した。
	郡山市中学校給食会運営委員会	委員 郡山市中学校給食会運営委員会に出席し、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を行った。
	西郷村食育推進検討委員会	委員 福島県西郷村主催の食育推進事業に委員として携わり、村内の学校給食センター及び小中学校で行われる、調査研究活動に協力・助言を行った。
	第10回ウイズガス全国親子クッキングコンテスト福島県大会	審査委員 福島県内各方部の予選を勝ち抜いた５組の親子がガスを使用して作った料理について審査を行った。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	平成28年度ふくしまっ子の食環境を考える会	講師 福島県教育委員会主催 平成27年度 ふくしまっ子の食環境を考える会・相双方部、会津方部の両会場において、個々の児童生徒の実態に基づいた給食指導や食に関する指導の重要性について講演を行った。
	伊達市立松陽中学校 「食育講演会」	講師 伊達市立松陽中学校の全校生徒を対象に、朝食の重要性や朝食を簡単に整える方法について講演を行った。
	小野町国民健康保険事業 「ヘルシー料理教室」	講師 小野町の一般町民を対象に、健康増進と疾病予防意識の高揚を図ることを目的として、夏野菜を使用した減塩料理の調理実習を行った。
	公益社団法人郡山青年会議所主催事業	運営協力 公益社団法人郡山青年会議所主催「郡山風土フェスタ事業」の、運営に協力した。
影　山　志　保	郡山市六次化事業「鯉に恋するプロジェクト」	鯉の機能性分析（平成28年４月１日～現在に至る）
	受託研究 「氷感庫内での微生物の増殖について」	（株）以輪富との共同研究で、食材の保存と熟成に関与している微生物について研究している。（平成28年４月１日～現在に至る）
	郡山女子大学サマーリフレッシュプログラム 教員免許状更新講習　講師	選択領域「食生活と健康」において「生活と衛生」をテーマに講義を行った。（平成28年７月31日）
	福島県／郡山女子大学連携事業（日本原子力研究機構協力）「放射線除染による環境再生について」	福島県と郡山女子大学学生サークルNLS部による市民への放射線の説明と内部被ばくの理解を目的とし，震災や原発事故についての郡山女子大学の取り組みについて発表した。また、ホールボディ車による内部被ばく測定をした。本件に郡山女子大学環境委員会委員とNLS部の顧問として尽力した。（平成28年10月１・２日）
	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2016出展	郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況等の取り組みを発表（平成28年10月19・20日）

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	独立行政法人国立環境研究所環境リスク研究センター　客員研究員	国内大気の汚染状況について、遺伝毒性の視点からのリスク評価を担当（平成28年２月１日から現在に至る）
坂野史明	日本血栓止血学会代議員	代議員として学会運営に携わった。
	農業体験・研修農園整備遊休農地活用推進事業	JA福島さくらと連携して遊休農地でのブルーベリー苗木の定植を行った。
	鯉に恋する郡山プロジェクト	郡山市と連携して郡山産鯉の栄養成分分析を実施した。
佐藤浩明	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業等郡山市推進アドバイザー	大会関連事業に係る指導及び助言に関すること。 大会関連事業に係る人材育成への指導及び助言に関すること その他市長が必要と認める事項に関すること
郡司尚子	郡山市６次化推進計画	懇談会委員 「郡山市６次化推進計画」策定のための懇談会を４回行った。
	原木椎茸料理講習会	講師 福島県原木椎茸再生産をめざす会主催で本宮公民館にて行われた「しいたけ料理講習会」の講師を担当。2016.11.11（金）
	原木しいたけを使ったレシピ作成	福島県原木椎茸再生産をめざす会の依頼により、原木椎茸を使用した料理を考案し、レシピ集を作成、各イベント時に配布された。2016.11～
	かつらおサークルミーティング	葛尾村と郡山女子大学、東北大学大学院農学研究科、日本大学工学部を中心とした復興支援、地域連携の取り組みを検討・実施。（2016.12～）
黒澤廣子	日本病態栄養学会	学術評議員
	福島県糖尿病療養指導士会	理事
	小野町国保ヘルスアップ事業「糖尿病予防教室」	講師 小野町の一般町民を対象に糖尿病予防を目的にヘルシー簡単料理教室で調理実習を行った。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	第９回福島県糖尿病療養指導士会講習会	講師 糖尿病の基本治療と療養指導（食事療法）平成28年６月26日
	第４回日本糖尿病療養指導学術集会	グループディスカッションファシリテーター ライフステージに応じた療養指導（栄養）平成28年７月23日
	福島県糖尿病協会「糖尿病週間行事」講演会	講師 続けられる食事療法のポイント平成28年11月19日
善　方　美千子	小野町国民健康保険保健事業 「ヘルシー料理教室」	講師　町民を対象に「調理実習で食生活の工夫を学ぼう」とし、塩分控えめヘルシー簡単料理教室を実施。（2016. ５.27）
	富岡町立富岡第一・第二小学校 「家庭教育講演会」	講師　小学生と保護者を対象に「親子で調理、栄養バランスのとれたヘルシーレシピ」とし、食育講演と調理実演、ならびに親子の調理実習を実施。 （2016. ７. ８）
	郡山市保健所食育推進ボランティア スキルアップ研修会	講師　郡山市民の食育推進ボランティアを対象に「食育と栄養を考えてみよう」とし、小学生の食育と地域の関わりについて講話を実施。 （2016.11. ４）
	特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会	理事　福島県における生涯スポーツの普及や、子どもの体力向上を目指し、事業内容の推進と、学生の参画について協力。（任期2016. ７. １ －2018. ６.30）
	大学と国立那須甲子青少年自然の家との 連携促進会議	独立行政法人国立青少年機教育振興機構に関わる教育ボランティア活動において、自然の家と大学の連携協議会に出席、および学生の参画に協力。（2017. １.10）
中　村　真智子	小野町国民健康保険事業	小野町の一般町民を対象に健康増進と疾病予防意識の高揚を図ることを目的として、生活習慣病予防のための調理実習を行った。（2016. ５.10、６.21）

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	第11回食育推進全国大会	食育推進全国大会に出展し、健康な心と体を育むためのお弁当詰め体験や骨密度を測定し食事の大切さを認識する機会となった。(2016. 6.11、12)
	西会津町「健康がいちばん推進事業」	町民参加型の健康まつりに出展し、お弁当箱におかずに見立てた手芸品をバランスよく詰める体験を通して、食育と食生活改善を図った。(2016.10.16)
横田和子	公益社団法人郡山青年会議所主催事業	運営協力 公益社団法人郡山青年会議所主催「郡山風土フェスタ事業」の、運営に協力した。
	附属高等学校卓球部「バランス弁当のコツ」	附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、日々の弁当作りのポイントについて料理教室を開催した。
細矢晴日	小野町国民健康保健事業 「ヘルシー料理教室」	小野町の一般町民を対象に健康増進と疾病予防意識の高揚を図ることを目的として、生活習慣病予防のための調理実習を行った。(2016.05.17、07.05)
	第11回食育推進全国大会	食育推進全国大会に出展し、健康な心と体を育むためのお弁当詰め体験や骨密度を測定し食事の大切さを認識する機会となった。(2016. 6.11、12)
	西会津町「健康がいちばん推進事業」	町民参加型の健康まつりに出展し、お弁当箱におかずに見立てた手芸品をバランスよく詰める体験を通して、食育と食生活改善を図った。(2016.10.16)
	郡山女子大学・JA福島さくら 連携体験研修農園事業	遊休農地や篤農家などの人材を活用し、農業の経験のない学生に、農業体験・研修を通して農業の良さや農業を担う地域の役割等の再認識を図った。(2016.11.09)
石村由美子	わくわく子ども大学実行委員及び講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	アカデミアコンソーシアムふくしま理事	アカデミアコンソーシアムふくしまに加盟する県内の16大学・短大が取り組んでいる「大学間連携共同教育推進事業」に係る連絡・協議会運営に参加
	棚倉町農作物・物産物ブランド認証審査委員	棚倉町農作物・物産物ブランド化推進協議会が取り組む、地元農産物・物産物の知名度の向上と全国へのアピールを目的とした、ブランド化へ向けた認証審査委員会の委員長を務めている。
田　辺　真　弓	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
	福島県文化財保護審議会	審議委員・福島県知事から諮問された福島県指定重要有形・無形文化財候補について、調査報告に基づいて審議を行い、答申した。
	平成28年度橘地域公民館主催事業・橘ときめき大学	講師・平成28年11月26日（土）第５回「衣生活の文化」の講師として、「西洋から日本へ伝えられた肩掛（ショール）」と題して２時間の講義を行った。
	公益信託 棚木宇巳子記念奨学育英基金運営委員会	運営委員長・公益信託奨学育英基金の運営について、郡山市教育委員会の案に基づいて協議し、受給対象者を選定した。
	一般社団法人日本家政学会服飾史・服飾美学部会委員会	委員・部会の運営について協議するとともに、部会報発行に携わった。
知　野　　愛	（一社）日本家政学会東北北海道支部役員会	道県幹事・日本家政学会東北北海道支部総会打合せ等
	日本家政学会家族関係学部会セミナー	実行委員・第36回家族関係学セミナーの準備運営に携わる
	テレビユー福島番組審議会	審議委員・番組の質の向上を目的として課題番組を合評
	郡山看護専門学校看護学科	講師・「家族社会学」講義
	サマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）	講師・家庭科領域「少子社会における家族と子育て支援」

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	わくわく子ども大学講師	講師・平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学、夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし講師を務めた
古山幹雄	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
山口　猛	わくわく子ども大学実行委員及び講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
阿部優子	わくわく子ども大学実行委員及び講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
齋藤理沙	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
坂上　茂	第11回食育推進全国大会inふくしま　福島県実行委員会	企画部会員として、第11回食育推進全国大会inふくしま（2016年６月11～12日開催）において福島県担当企画に参画した。
	わくわく子ども大学 講師	夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室で講師を務めた。2016年10月29日
	親子クッキング教室「キッズ・イン・ザ・キッチン」	（公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。2016年12月17日
會田久仁子	郡山警察署協議会委員	警察法により警察署に警察署協議会が置かれる。管轄区域内における警察の事務の処理に関し警察署長の諮問に応じ、警察署長に対し意見を述べる機関である。委員に委嘱され年に４回開催計画の協議会に出席している。
	第11回食育推進全国大会inふくしま　福島県実行委員	企画部会員として第11回食育推進全国大会inふくしまにおいて県担当企画の立案と運営に参画した。平成28年６月11・12日

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし、講師を務めた。
	リビング郡山紙「日本伝統の食文化おせち料理豆知識」編集協力	福島リビング新聞社発行リビング郡山・リビング福島1545号2016年11月19日号の巻頭特集記事編集に協力した。
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催　郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室で講師を務めた。平成28年10月29日
	親子クッキング教室「キッズ・イン・ザ・キッチン」	（公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。平成28年12月17日
水　野　時　子	郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム委員	子どもたちが明るく健やかに成長するための環境づくりに委員として携わった。
	郡山市市民活動推進顕彰事業（まちづくりハーモニー賞）審査委員会委員	魅力と活力あるまちづくりに先導的な取り組みをしている方々を表彰するための審査に、委員長として携わった。
	郡山市六次化事業「鯉に恋するプロジェクト」	鯉の栄養成分の分析を行い、郡山市に報告した。
	わくわく子ども大学講師	実施日：８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
	講義「スポーツと栄養」講師	実施日：10月15日（土）会場：福島医療専門学校 福島県体育協会からの依頼により、福島医療専門学校生を対象に講義を行った。
	親子クッキング料理教室「キッズ・イン・ザ・キッチン」	実施日：12月17日（土）　会場：郡山女子大学 （公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。
	附属高等学校卓球部「バランス弁当のコツ」料理教室	実施日：２月25日（土）　会場：郡山女子大学 附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、日々の弁当作りのポイントについて料理教室を開催した。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	「くわのっ子スクール」講師	実施日：３月11日（土）　会場：桑野地域公民館 桑野地域公民館主催事業「くわのっ子スクール」講師として、子どもたちと一緒に昼食作りを行った。
武地誠一	わくわく子ども大学　講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし、講師を務めた。
	親子クッキング教室「キッズ・イン・ザ・キッチン」	（公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。2016年12月17日
小林澄枝	第63回日本栄養改善学会学術総会（青森県）	一般講演　臨床栄養分野の発表においてモデレーターを務めた。
	イーオンお弁当商品開発	９月からイオンリテール株式会社と提携し、「食」を通して地域社会に貢献することを目的に学生が考えたお弁当メニューの商品化を試みた。第１回販売は、郡山フェスタ2017年２月26・28日の両日、各50食を提供した。
	福島県医療福祉関連教育施設協議会委員	福島県の医療福祉関連教育機関が連携・相互協力しチーム医療を実践し、良質なサービスの提供のために行動できる医療・福祉従事者を育成・輩出する目的で発足した協議会の準備委員を務めた。2016.６.９～
	「相双・地産地消で“ご飯のおとも”料理コンテスト！」	相双地区で地産地消や食育の推進を目的に親子料理コンテストが開催され審査員を務めた。2016.10.16
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催、本学で開催した親子料理教室の運営を行った。2016.10.29
	第２回連携コーディネーター―会議 共催アカデミア・コンソーシアムふくしま	お弁当サークル（めばえ食堂）メンバー10名が、会議の昼食として、お弁当「ふくしま　秋三昧弁当」50食を600円で提供した。2016.11.19
	「おいしい　ふくしま　いただきます」キャンペーン	福島県庁農産物流通課主催、県産農林水産物の安全性への理解促進およびおいしさ・魅力を再認識する目的で講演会の開催し、その運営を行った。2016.11.26

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	公開講座　親子料理教室 「キッズ・イン・ザ・キッチン」	公益社団法人　日本フードスペシャリスト協会の助成を受け、公開講座・親子料理教室を開催した。テーマは「キッズ・イン・ザ・キッチン～野菜でXmasトライ～」と題し、「食」の大切さと感謝の心を身に付けることを目的に親子20組、42名が参加し楽しく調理を行った。2016.12.17
	民友新聞 「野菜高値に対抗する栄養価の高い鍋メニュー」の提案	鍋物を楽しむ季節に葉物高値で家計直撃している12月。一方、安価なもやしや豆苗は人気が上昇している。安価で高い栄養価が期待できるメニューの提案が民友新聞に掲載された。2016.12. 4
	郡山保健所「給食施設を利用される方への健康に配慮した食事提供と減塩のポイント」	給食業務従事者（約100名）を対象に、給食利用者の健康増進を図るため、減塩を意識した献立の組み合わせと調理方法等についての研修会において、講師を務めた。2016.12.26
	福島テレビ放送　１月12日18時15分放送 「センター試験前日の夕食メニュー」	センター試験前日の夕食メニュー、試験当日の朝食メニュー AまたはB食 試験当日の昼食について、受験生に必要な栄養素や食材の選び方、調理の仕方、食べ方について解説しテレビで放送された。2016.1.12
	葛尾村地域資源の発掘と応用支援 凍み餅の商品開発	凍み餅の「かりんとう」「ふりかけ」など調理・工夫を試みた。凍み餅を作る工程で細くカットし乾燥させ硬さの比較などを行った。2016.11.10～
	うめつLS内科クリニック（福島市）	糖尿病専門クリニックにおいて栄養カウンセラーを担当した。
	福島県立総合衛生学院	看護学科　非常勤講師「臨床看護総論・栄養学」担当した。
金　子　依里香	わくわく子ども大学実行委員及び講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、実行委員および講師を務めた。
	親子クッキング教室「キッズ・イン・ザ・キッチン」	（公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。2017年12月17日

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	かつらおサークルミーティング	葛尾村と郡山女子大学、東北大学大学院農学研究科、日本大学工学部を中心とした復興支援、地域連携の取り組みを検討・実施。(2016.12～)
澤渡優喜	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし、講師を務めた。
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室の運営に参加した。2016年10月29日
	親子クッキング教室「キッズ・イン・ザ・キッチン」	（公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。2016年12月17日
鈴木奈津子	公益社団法人　福島県栄養士会	研究教育協議会役員
	わくわく子ども大学 講師	平成28年８月７日（日）　会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし、講師を務めた。
	アカデミア・コンソーシアムふくしま	平成28年度合同成果報告会で販売されたお弁当作りに携わった。 2016年11月19日
	親子クッキング教室「キッズ・イン・ザ・キッチン」	（公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。　2016年12月17日
加藤雅子	第11回食育推進全国大会inふくしま　福島県実行委員	企画部会員として第11回食育推進全国大会inふくしまにおいて県担当企画の立案と運営に参画した。平成28年６月11・12日
	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし、講師を務めた。
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催　郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室で講師を務めた。平成28年10月29日
	親子クッキング教室「キッズ・イン・ザ・キッチン」	（公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。平成28年12月17日

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
庄　司　みさ紀	わくわく子ども大学	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と社会貢献を目標とし、運営補助を行った。
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催、郡山女子短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室で、調理補助等を行った。2016年10月29日
	第２回連携コーディネーター会議、昼食会の弁当提供	地域創造支援センター共催　アカデミア・コンソーシアムふくしまにおいて弁当の調理、提供を行った。2016年11月19日
	親子クッキング教室「キッズ・イン・ザ・キッチン」	（公社）フードスペシャリスト協会と共催した地域住民向け公開講座で、調理補助等を行った。
三　瓶　令　子	全国大学音楽教育学会	副理事長 学会運営と諸議題についての検討
	全国大学音楽教育学会・東北地区学会	顧問 東北支部の運営と、全国学会からの諸問題についての検討と補佐
	社団法人全国保育士養成協議会東北ブロック	理事・監事 東北ブロックの運営と、監事監査
	社団法人全国保育士養成協議会保育士試験実技試験採点委員	国家試験資格としての保育士試験において、実技試験（ピアノ）試験官として採点を行った。（2016,10,23　12,11）
	郡山市地方社会福祉審議会委員	児童福祉専門分科会会長 同審議会における審議・進行。年に数回開催。
	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
	教員免許状更新講習（サマーリフレッシュ）講師	平成28年８月３日（水）　会場：郡山女子大学 「音楽で育つ子どもの世界」のテーマで、講師を務めた。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	幼稚園教育研究会講師	平成29年１月13日（金）　会場：矢吹町立三神幼稚園 幼稚園教諭に対して、「楽器の扱い方並びに合奏の組み立て方について」のテーマで講師を務めた。
	民報社	郡山近辺の子育て中のお母さんを応援（未就学児の児童と保護者対象）する。 ・触れ合い歌や絵本、遊び歌等を行い、併せて、保護者からの子育て相談を行った。
冨士盛　公　年	「白河っこ応援事業」相談委員	「白河っこ応援相談事業」の評価・指導助言者
一　柳　智　子	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
	民族藝術学会　理事	民族藝術学会東京事務所の年３回の定例研究会の企画運営及び査読委員
	比較舞踊学会	比較舞踊学会誌『比較舞踊研究』編集委員及び査読委員
	白河市文化財保護審議会委員	白河市の文化財保護に関わる事業の審議に関わる活動
	郡山市教育委員会事務点検評価委員会委員	郡山市教育委員会の所掌する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価。
早　川　　仁	サマーリフレッシュプログラム（教員免許更新講習）８月３日（水）	「創作イメージと描画表現力を育む」講師
草　野　葉　子	郡山市私立幼稚園協会	平成28年度郡山市私立幼稚園協会教員研修会「木工製作」の講師。
	同上	平成28年度郡山市私立幼稚園協会　第２回教員研修会　分科会C「造形」の講師
小　林　　徹	（委員等） 郡山市教育支援委員会委員	郡山市立小・中学校に在学する心身に障がいを有する児童生徒の教育的措置や適正な就学について検討した。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	三春町子ども・子育て支援会議委員（会長）	「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定する会議で学識経験者として会長を務めた。
	福島県立郡山養護学校・福島県総合療育センター肢体不自由児後援会理事 （研修会講師等）	肢体不自由児の教育や活動を支援するために組織された会に理事として参加した。
	郡山市私立幼稚園協会幼児教育センター 研究部B分科会	平成28年６月29日（水）会場：たから幼稚園 講演「障がい理解と子ども理解－わかることを喜びに－」
	平成28年度　郡山市特別支援教育研究会 夏季研修	平成28年７月22日（金）会場：安積総合学習センター 講演「合理的配慮の理念と特別支援学級における指導の実際」
	平成28年度　全日本私立幼稚園幼児教育研究機構免許状更新講習、福島県私立幼稚園連合会10年経験者教員研修会	平成28年７月25日（月）会場：清稜山倶楽部 講演「幼稚園をめぐる教育の最新事情　子どもの発達と新たな課題」
	平成28年度　KGCサマーリフレッシュプログラム	平成28年７月30日（土）31日（日）会場：郡山女子大学 講演「生活・教育上の特別なニーズをもつ子どもの理解と支援」ほか
	平成28年度　本宮方部特別支援教育研修会	平成28年８月18日（木）　会場：白沢公民館 講演「障がいの多様化に対応した多様な学びの場と支援のあり方」
	平成28年度　福島県立安達東高等学校 「産業社会と人間」	平成28年11月24日（木）　会場：福島県立安達東高等学校 連続講義「産業社会と人間」の一回を担当した。
	平成28年度　おおたま学園オープンスクール 特別支援教育部会	平成28年11月25日（金）　会場：大玉村立玉井小学校 知的障がい学級における国語の授業についての指導助言
	福島県放課後児童支援員認定資格研修会	平成29年１月６日（金）17日（火）　会場：ビッグパレット福島 講演「障がいのある子どもの理解」「障がいのある子どもの育成支援」
	第33回（平成28年度）芳山教育研究発表会	平成29年１月27日（金）　会場：郡山市立芳山小学校 知的障がい学級および情緒障がい学級における研究授業の指導助言

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
山上裕子	教員免許状更新講習	講師　「子どもの成長と体験」の講義
折笠国康	三春町立幼稚園保育所合同研修会	保育講演会　講師　子どもの自尊感情の育成 平成28年５月18日　三春町第２保育所
	三春町教育委員会	生徒指導講演会　講師 児童・生徒の自尊感情を高める支援・指導の在り方 平成28年11月16日　三春町立三春中学校
	最上地区学校保健会　最上地区高等学校校長会　最上地区中学校校長会	生徒指導講演会　講師 思春期の生徒たちの気持ちに寄り添う指導 平成28年12月１日　新庄市民プラザ
	福島県教育庁県中教育事務所	道徳教育講演会　講師　自尊感情の育成 平成29年１月12日　三春町立岩江中学校
	郡山女子大学付属幼稚園	保護者向け子育て講演会　講師　自尊感情の育成１ 平成29年１月31日　郡山女子大学付属幼稚園
	郡山女子大学付属幼稚園	保護者向け子育て講演会　講師　自尊感情の育成２ 平成29年２月15日　郡山女子大学付属幼稚園
永瀬悦子	福島県子育て支援課	平成28年度福島県放課後児童支援員認定資格研修会において、テーマ「子どもの生活面における対応」の講師を務めた。
	公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会	平成28年度教員研修会において、テーマ「安全管理と応急処置」の講師を務めた。
	平成28年度郡山女子大学サマーリフレッシュ（教員免許更新講習）	幼稚園教諭を対象とした講義において、テーマ「子どもの病気と保育～健康状態の観察と症状の対処法について～」の講師を務めた。
	わくわく子ども大学	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学　夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師（救護）を務めた。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	中妻小学校	思春期保健授業
	岩江小学校	思春期保健授業
	三春小学校	思春期保健授業
	沢石小学校	思春期保健授業
	御木沢小学校	思春期保健授業
ポール・バーナミィ	国際交流特別講座	English Lecturer： This is an adult education English class with two levels of students. Each class is 90 minutes with 15 total meetings for 22.5 hours in each full session. Students may prepare English topics or interact with teacher based topics. Conversation is the focus while allowing students to speak with other class members and a native speaker. Many students have continued this class for more than six intervals. I am placing more emphasis on having college students join this in conjunction with their regular classes.
	日本タッチ＆フラッグフットボール協会（JTFA）	Coaching & Leadership： This is a school club that cooperates with other clubs throughout Tohoku, Kanto, and also Kansai. Events take place in Yamagata, Sendai, Koriyama, Saitama, Yokohama and Kobe. This a college sport that allows for games to be played with former college students. One of the most popular events of the year is played in Yokohama Bay Star Stadium. This is a national event with players throughout Japan participating in and beyond their college years.
伊　藤　哲　章	わくわく子ども大学実行委員会（運営委員長）及び講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
古川　督	福島県矢吹町教育委員会	矢吹町子ども・子育て会議の学識経験者として委員を務める（平成26年７月～）
	社会福祉法人ゆめみの里 職員研修講師	同法人児童養護施設森の風学園における月１回の職員研修の講師として、実務に即した内容の研修を行う（平成27年５月～）
	教員免許状更新講習（幼稚園課程）講師	幼稚園教諭を対象に「子どもの権利擁護」をテーマに講義を行う（平成27年８月～）
	一般社団法人福島県医療福祉関連教育施設協議会準備委員	医療福祉関連教育機関が連携・相互協力することにより，各職種者が協調して全人的医療と良質なサービス提供のために行動できる従事者を育成・輩出することを目的とする協議会の立ち上げメンバーとして参加（平成28年６月～）
	一般社団法人福島県医療福祉関連教育施設協議会 研修会 講師	医療福祉関連校で学ぶ学生等の交流と協調を図る研修会の講師（ファシリテーター）を務める（平成28年７月～）
	公益社団法人福島県私立幼稚園連合会教員研修会講師	新任教員研修会　講演テーマ「現代社会における子どもの問題」
	復興庁主催『「新しい東北」交流会in郡山』学生アドバイザー	復興支援を目的の一つとする本学のイベント「劇とあそびのつどい」学生実行委員のアドバイザー及び引率
	福島県矢吹町公立保育園移管先法人選定委員会副委員長	公立保育園移管先法人の選定及び委員長の補佐
	福島県放課後児童支援員認定資格研修講師	福島県が実施の左記研修会の講義（担当科目「家庭福祉施策と放課後児童クラブ」）
	社会福祉法人東光学園評議員選任・解任委員会 委員長	社会福祉法人東光学園の評議員の選任・解任手続き等を行う委員会の委員長及び議長（平成29年２月～）
柴田　卓	みやぎ野外教育ネットワーク　代表	東北における野外教育指導者の研修および情報交換会の企画・運営

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	一般社団法人 みどりの東北元気プログラム実行委員会　理事	東北における不登校児童・生徒を対象とした支援キャンプの検討
	郡山市私立幼稚園協会	「運動遊び」講師　平成28年５月11日、９月７日
	小野町　保育活動に係る講師派遣	「おのまちわかばたんけんたい」講師　自然保育の実践および評価
	Wilderness Education Association Japan　4 th Conference in MIYAGI　実行委員会	実行委員　平成28年６月25日 - 26日　夢メッセみやぎ 海外の野外教育指導者を招聘したカンファレンスの企画・運営
	平成28年度サマーリフレッシュプログラム（教員免許更新講習）	「海外の保育事情～北欧３カ国の事例から学ぶ～」講師　平成28年７月31日
	福島大学　教員免許更新講習	「自然の魅力を活かした保育技術」講師　平成28年10月23日
	子どもが自然と遊ぶ楽校ネット 「ふくしまの子どもから学ぶワークショップ」	ファシリテーター　平成29年１月27日　　郡山ユラックス熱海
	国見町　地方創生ママにやさしいまちづくり「ママカフェ～親子でLet's Play ！～」	親子体操　講師　平成29年２月４日　国見町役場
猪　股　照　子	民報社	郡山近辺の子育て中のお母さんを応援（未就学児の児童と保護者対象）する。 ・触れ合い歌や絵本、遊び歌等を行い、併せて、保護者からの子育て相談を行った。
仲　西　真美子	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし、講師を務めた。
齋　藤　朋　子	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし、講師を務めた。
浅　野　　章	福島県美術家連盟	会員 福島県の美術普及活動

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	国画会	絵画部会員 出品作品の審査・講評、及び運営業務
	福島民報特別通信員	特別通信員（ふるさと記者） 美術関係の話題を中心として福島民報新聞社に情報を提供する。
	国画会絵画部チャリティー事業	出品協力 東京六本木国立新美術館に於いて、第90回・国展絵画部でのチャリティー展に出品。小品を展示販売し、売上金全額をNHK厚生文化事業団に寄付した。
	わくわく子ども大学講師	講師 郡山女子大学に於いて、夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的に開催した。（なんでもフロッタージュ）
	海の日芸術祭実行委員会	理事・実行委員 出品作品の審査・講評、及び運営業務
	福島県総合美術展	招待作家 出品作品の審査・講評
	第４回「父母の講座」	講師 郡山女子大学附属幼稚園に於いて「子どもは天才芸術家。親はくすぐるだけ」というテーマで講座を行った。
	Moa美術館郡山児童作品展	出品作品審査・講評
	郡山市総合美術展	招待作家
	郡山市景観づくり審議会	委員 色彩の学識経験者として郡山市の景観について審議およびアドバイスをする。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
小松太志	葛尾村イメージキャラクター検討会	葛尾村イメージキャラクターのデザインマネジメント、グッズ開発支援、運用支援を実施。(2016.4～)
	アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン2016	審査委員　「間」をテーマとして公募されたポスター265点の作品審査を実施。(2016.7)
	平成28年度サマーリフレッシュプログラム（教員免許更新講習）	講師「デザインの指導法及び映像表現」の映像表現分野を担当。(2016.8)
	放送大学福島学習センター	講師「デザインの見方」(集中型面接授業）を担当。(2016.11)
	かつらおサークルミーティング	葛尾村と郡山女子大学、東北大学大学院農学研究科、日本大学工学部を中心とした復興支援、地域連携の取り組みを検討・実施。(2016.12～)
	JA福島さくらファンづくりプロジェクト	JA福島さくらのイメージキャラクター開発支援を実施。(2017.1～)
黒沼　令	岩手県高等学校文化連盟	楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞） トロフィ（功労賞、連盟賞）の原型制作
草野順子	わくわく子ども大学実行委員	平成28年8月7日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし実行委員を務めた。
	MOA美術館郡山児童作品展	MOA美術館郡山児童作品展出品作品の審査。
岡部富士夫	郡山市民オーケストラ	ミュージックアドヴァイザー　指揮・指導　年数回の演奏会を指揮
	郡山女声合唱団	常任指揮者　年数回の演奏会を指揮
	日本作曲家協議会	会員　随時作品発表
	JFC東北	会員　随時作品発表
	NHK文化センター	講師　クラシックサロン

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	合唱団「風」	常任指揮者　年数回の演奏会を指揮
	NHK他コンクール	審査員　NHKその他各地域のコンクールの審査
	福島オペラ協会	理事・企画・運営
	あさかの学園大学	講師　年２度の講義
	全日本声楽アンサンブルコンテスト実行委員会	委員・企画・運営
	郡山市文化・学び振興公社	評議員
	郡山市教育委員会音楽学習設備検討委員会	委員
深　谷　登喜子	須賀川音楽協会	会長。須賀川の音楽文化向上を図るための団体。
	須賀川市文化センター運営委員会	副会長。文化センター運営のための諮問機関。
	郡山女声合唱安	ピアニスト。一般の合唱団、演奏会、コンクール参加等の活動。
	須賀川神炊館神社神楽殿運営委員会	運営委員。神楽殿の運営。
横　溝　聡　子	第26回東北青少年ピアノコンクール仙台地区大会	平成28年６月11日（土）会場：仙台市戦災復興記念館（記念ホール） 仙台地区リトルピアニストコース予選会において審査委員を務めた。
	わくわく子ども大学実行委員及び講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
	第26回日本クラシック音楽コンクール福島予選	平成28年８月14日（日）会場：郡山市中央公民館（多目的ホール） 福島予選ピアノ部門において審査員を務めた。
磯　部　哲　夫	会津演奏家連盟	副代表　会津演奏家連盟第２回音楽の森コンサートにおいてバロック音楽J.Sバッハについての楽曲解説と司会を担当した。三島町立三島小学校音楽鑑賞教室、音大を目指す高校生によるコンサートにおける企画・運営を担当した。

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	全日本楽教育研究会	会員
	全国大学音楽教育学会	会員
	福島県声楽協会	会員
	高声会	会員　第17回高声会演奏会においてドイツ歌曲における研究発表を行った。
	KGCサマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）	講師　「音楽科指導法」、「歌唱法」の講義を担当した。
	郡山市立安積第一小学校合唱部	講師　NHK合唱コンクールにおける合唱指導を行った。
	郡山女声合唱団	ヴォイストレーナー
南　川　　肇	わくわく子ども大学実行委員及び講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
	東京クラリネットフィルハーモニー	平成28年８月13～16日　会場：蔵王アストリアホテル
	蔵王クラリネットサマーキャンプ	受験生・学生・一般社会人を対象としたクラリネットクリニック・コンサートを行った
野　沢　謙　治	福島県立博物館展示収集委員会	県立博物館の展示収集について審議
	福島県の森林文化に係わる調査検討委員会	超学際機構の設置　県の森林文化の特性について調査・審議
	須賀川市歴史文化基本構想策定委員会	今後の市の文化財行政について審議
	石川町歴史文化基本構想策定委員会	今後の町の文化行政について審議
	須賀川市文化財審議委員会	市の文化財指定について審議
	あさかの学園大学	郡山市の生涯学習　講師

氏　名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
二　宮　和比古	白河市立図書館協議会委員	平成25年より現代に至る。
齋　藤　美保子	福島県文化振興事業団評議委員会	委員として、事業団の平成28年度の運営全般について評議した。
	福島県立美術館運営協議会	委員として、美術館の平成28年度の運営全般について協議した。
	郡山市美術品選定委員会	委員として、美術館の平成28年度各展示を詳細に検討した。
	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし、講師を務めた
桑　野　　聡	郡山市図書館協議会	議長・委員として郡山市内の図書館運営を協議し、市民の読書環境整備を支援している。
	福島放送番組審議会	副委員長・審議委員として福島放送（KFB）自社制作番組を合評し、番組の質的向上を支援している。
	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。
會　田　容　弘	（仮称）郡山市公文書・歴史情報館基本構想に係る懇談会　委員	（仮称）郡山市公文書・歴史情報館の基本構想を策定し、郡山市長に答申する。
	じょーもぴあ宮畑オープンカレッジ講師	平成28年９月11日にじょーもぴあ・遺跡の案内人主催第２回オープンカレッジで「東北地方旧石器時代研究の最前線」という講演をおこなった。
仲　田　佐和子	わくわく子ども大学講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし、講師を務めた。
佐　藤　愛　未	わくわく子ども大学実行委員及び講師	平成28年８月７日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。